

# パソコンバンク Web21「サーバー接続サービス」 接続手順のご案内(システムご担当者用)

第 1.1 版

株式会社 三井住友銀行

2018 年 3 月

本書の内容については、  
無断転載・無断使用を固く禁じます。

# 目次

目次.....	1
<b>第 1 章 サービス概要 .....</b>	<b>1-1</b>
<b>1.1 サーバー接続サービス概要.....</b>	<b>1-2</b>
1.1.1 プロトコル構成 .....	1-2
1.1.2 連絡手段.....	1-2
1.1.3 OAuth 認証.....	1-3
<b>第 2 章 通信制御.....</b>	<b>2-1</b>
<b>2.1 連携手順.....</b>	<b>2-2</b>
2.1.1 企業による API 連携概要フロー .....	2-2
<b>2.2 タイマ管理 .....</b>	<b>2-4</b>
2.2.1 Web21 でのタイマ監視.....	2-4
2.2.2 企業様におけるタイマ監視 .....	2-4
<b>第 3 章 利用開始後の手続き .....</b>	<b>3-1</b>
<b>3.1 本サービス利用開始後の手続き .....</b>	<b>3-2</b>
3.1.1 本サービス利用開始後の手続き .....	3-2
<b>第 4 章 通信シーケンス .....</b>	<b>4-1</b>
<b>4.1 本サービスの通信フロー .....</b>	<b>4.1-1</b>
4.1.1 本サービス利用時の基本フロー .....	4.1-1
<b>4.2 異常時の通信シーケンス .....</b>	<b>4.2-1</b>
4.2.1 異常時処理の概要.....	4.2-1
4.2.2 API 連携認証・認可エラー .....	4.2-2
4.2.3 依頼データ確定要求電文のエラー .....	4.2-3
4.2.4 依頼データ確定要求電文の警告 .....	4.2-4
<b>第 5 章 通信インタフェース仕様.....</b>	<b>5-1</b>
<b>5.1 電文一覧.....</b>	<b>5.1-1</b>
5.1.1 電文一覧.....	5.1-1
<b>5.2 本サービス用接続先 URL.....</b>	<b>5.2-1</b>
5.2.1 接続先 URL.....	5.2-1
<b>5.3 企業認証識別子の暗号化方式 .....</b>	<b>5.3-1</b>
5.3.1 企業認証識別子の暗号化方式.....	5.3-1

## 付録

- 付録1. 全銀テレ為替文字
- 付録2. 全銀テレ為替文字変換
- 付録3. システム規定半角文字
- 付録4. システム規定全角文字
- 付録5. インタフェース仕様
  - 付録. 認可・共通
  - 付録. 明細照会
  - 付録. 資金移動
- 付録6. 異常電文パラメータ
- 付録7. 各種取引上限件数

## &lt; 修正履歴 &gt;

2018年3月(1.1版)	全体	第1.0版から第1.1版へ修正
	目次	修正履歴を新設
	2.1	連携手順を追加
	3.1.1(1)	トークンの有効期限に関する記載を修正
	4.2.3(1)	図4.2.3.1の文言を一部修正
	5.1.1	電文一覧にリダイレクト(認証)を追加
	5.3.1	項番6初期化ベクトルに関する記載を修正
	付録5	リダイレクト(認証)の項目を追加

## 第1章 サービス概要

# 1.1 サーバー接続サービス概要

## 1.1.1 プロトコル構成

API 連携インタフェースで使用するプロトコルの構成を以下に示します。

OSI 参照モデル	OAuth 認証電文・API 連携電文
アプリケーション層	本書で規定する電文フォーマット
プレゼンテーション層	
セッション層	HTTP over SSL/TLS (HTTP/1.0 または HTTP1.1)
トランスポート層	TCP
ネットワーク層	IP
データリンク層	規定しない
物理層	

図 1.1.1-1 プロトコル構成

## 1.1.2 連絡手段

本連携手順においては、パソコンバンク Web21(以降、Web21)と企業様間の連絡手段として、「リダイレクト」を利用します。これらの連絡手段に対して、電文と呼ばれる制御メッセージを設定することで、Web21 と企業様 API 連携接続システムとの間で情報のやり取りを行います。

### (1) リダイレクト

業務上で発生する Web21 の画面と企業様 API 連携接続システムの画面との間の相互移行(利用者ブラウザから見た Web21 と連携先アプリケーションとの接続替え)は、インターネットおよび利用者のブラウザを経由した「リダイレクト」により実現します。(単純な URL リンクは、双方のサーバにおける端末入力待ちタイムの監視を阻害することから、使用しません。)一方のサーバが、他方のサーバへ画面を移行する際には、その HTTP レスポンスにおいて、HTTP ヘッダの Location フィールドに接続先の URL をセットすることにより、他サーバへの接続をブラウザに指示します。

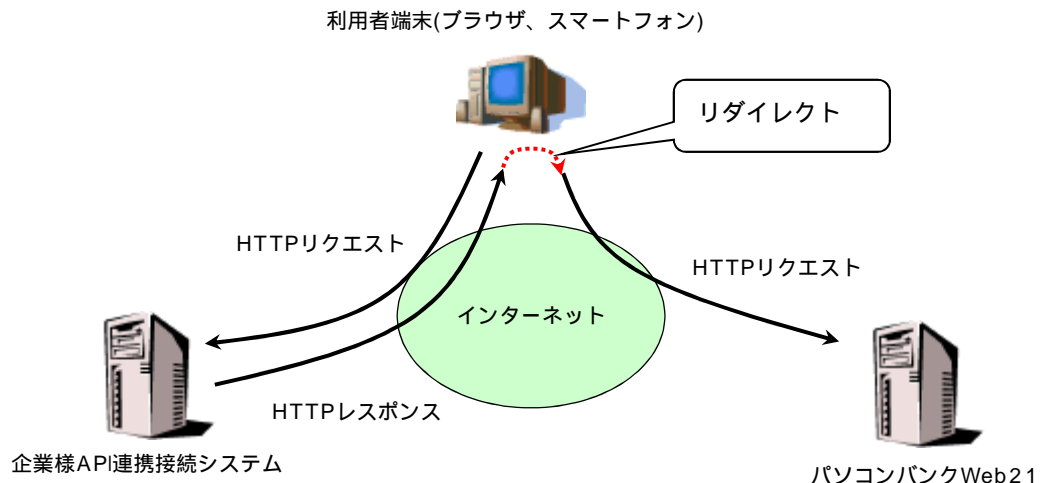


図 1.1.2-1 リダイレクト

### 1.1.3 OAuth 認証

OAuth 認証とは、企業様からの要求により、Web21 にて利用者の認証および企業様に情報を連携することへの認可を行うための認証プロトコルです。

#### (1) トークン

利用者による認証と認可の完了後、企業様は Web21 に対してトークンの発行を依頼します。なお、トークンの発行依頼については、表 1.1.3-1 を参照してください。

表 1.1.3-1 OAuth 電文の用途・送信契機

項番	電文種別名	用途(設定内容)・送信契機
1	アクセストークン取得要求電文	企業様が、Web21 に対してアクセストークンの発行を依頼する際に送信する。
2	アクセストークン取得応答電文	アクセストークン取得要求電文の応答として、Web21 が企業様に対して、発行したアクセストークン、リフレッシュトークン、およびトークンを発行した利用者情報を設定して送信する。
3	アクセストークン再発行要求電文	企業様が、Web21 に対してアクセストークンの再発行を依頼する際に送信する。
4	アクセストークン再発行応答電文	アクセストークン再発行要求電文の応答として、Web21 が企業様に対して、再発行したアクセストークン、リフレッシュトークンを設定して送信する。
5	異常電文	各要求電文の応答として、Web21 が企業様に対して、Web21 内で応答電文送信前にエラーが発生した場合のエラーコードを設定して送信する。

Web21 から発行されるトークンは以下のとおりです。

表 1.1.3-2 本サービスで利用するトークンの種類

項番	トークン名	有効期限	説明
1	アクセス トークン	・15分 (固定)	保護されたリソースにアクセスするために使用されるクレデンシャル。 企業から Web21 に対して API 連携を要求する際、有効なアクセストークンを提示することで利用者の認証および認可が完了しているものとする。
2	リフレッシュ トークン	・30日以内	アクセストークンを取得するために使用されるクレデンシャル。 アクセストークンが有効期限切れかつリフレッシュトークンが有効期間内の場合、この2つのトークンを提示してトークンの再発行を依頼することで、利用者の認証および認可を行わずに新しいアクセストークンおよびリフレッシュトークンの発行が可能である。 なお、両方のトークンが有効期限切れの場合は、再度利用者の認証および認可が必要となる。

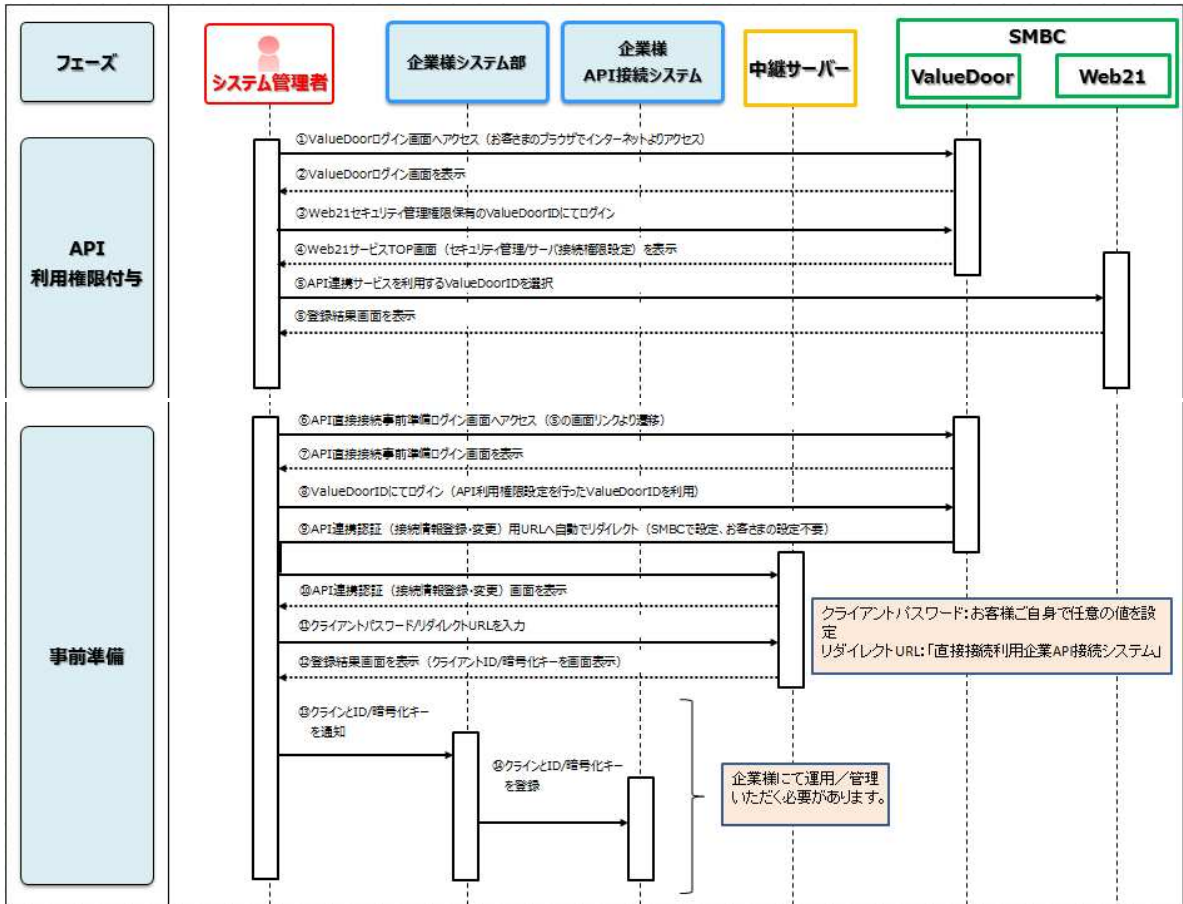
## 第2章 通信制御



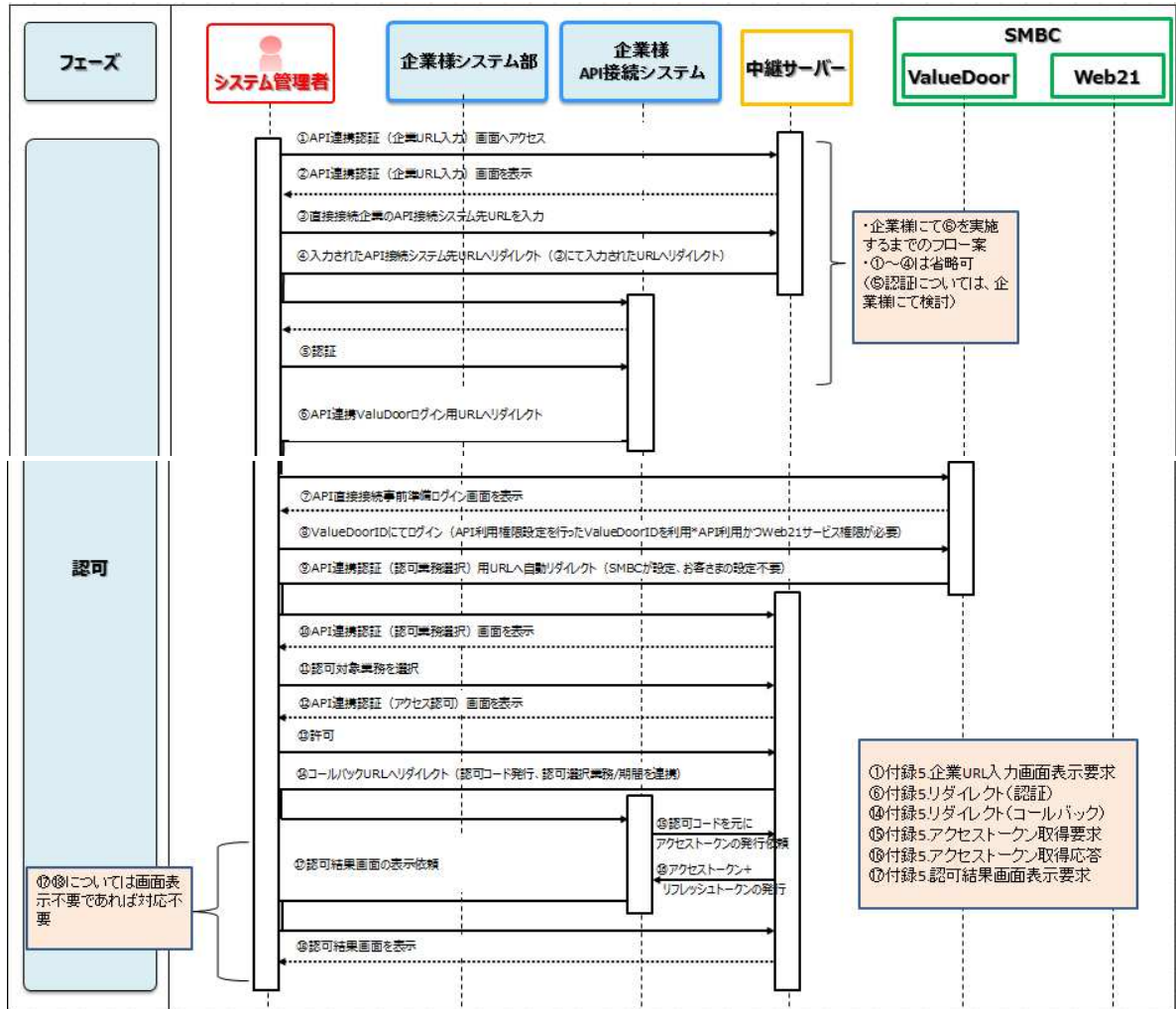
## 2.1 連携手順

### 2.1.1 企業による API 連携概要フロー

#### (1) API 利用権限付与～事前準備



(2) 認可



## 2.2 タイマ管理

企業様と Web21 の連携時に、お互い正しく通信が行われているかを確認するため、監視タイマを設けます。

### 2.2.1 Web21 でのタイマ監視

API 連携時、Web21 内部または金融機関ホストとの通信時の遅延などを監視するため、Web21 側で監視するタイマについては以下のとおりです。

表 2.2.1-1 Web21 の監視タイマ

項番	タイマ種別	タイマ値	用途
1	API 連携ログインパスタイマ	455 秒	API 連携の要求電文を受信してから、応答電文を送信するまでのログインタイマ。 ログインパスの解放予定を算出するために利用する。
2	API 連携タイマ	450 秒	API 連携の要求電文を受信してから、応答電文を送信するまでのタイマ。

### 2.2.2 企業様におけるタイマ監視

API 連携時、Web21 との通信時の遅延などを監視するため、企業様は以下のタイマを保持する必要があります。

表 2.2.2-1 企業の監視タイマ

項番	タイマ種別	タイマ値	用途
1	応答電文待ちタイマ	任意	通信環境の問題などにより、Web21 から応答電文が受信できない場合を想定し、要求電文送信後から応答電文受信までの監視タイマを設ける。 タイマ値については、企業様が提供するサービス内容に応じて考慮する必要がある。

## 第3章 利用開始後の手続き

## 3.1 本サービス利用開始後の手続き

### 3.1.1 本サービス利用開始後の手続き

本サービスのご利用開始後、想定するお手続きのパターンを以下に示します。

#### (1) トークンの有効期限切れ

OAuth 認証による認可手続き時に発行したトークンの有効期限切れの場合、OAuth 認証による再認可手続き（システム間連携の登録）を実施していただく必要があります。

企業様サーバにて有効期限切れエラー（refresh token has expired.[501]）を検知した場合、再認可が必要な旨のアラームをシステム部（または IB ユーザ部）へ送付するようにアプリケーション開発を推奨しています。

#### (2) API インタフェース追加

ご利用される API インタフェースを追加する場合、OAuth 認証による再認可手続き（システム間連携の登録）後に API 連携を開始していただく必要があります。

#### (3) 「クライアントパスワード」「暗号化キー」の変更

本サービス開始手続きで取得した「クライアントパスワード」「暗号化キー」を変更したい場合、接続情報登録・変更画面より、「クライアントパスワード」「暗号化キー」を変更していただく必要があります。その後、設定情報を企業 API 連携接続システムに再設定してください。

#### (4) API 連携用サーバを更改

API 連携用サーバを更改する場合も、ご利用中の「クライアント ID」「クライアントパスワード」「暗号化キー」は、そのまま継続してご利用可能です。

接続情報登録・変更画面より、「リダイレクト URL」の変更を行い、OAuth 認証による再認可手続き（システム間連携の登録）を実施していただく必要があります。その後、API 連携を開始してください。

## 第4章 通信シーケンス

## 4.1 本サービスの通信フロー

### 4.1.1 本サービス利用時の基本フロー

本サービスの利用にあたっての基本的な通信フローを以下に示します。

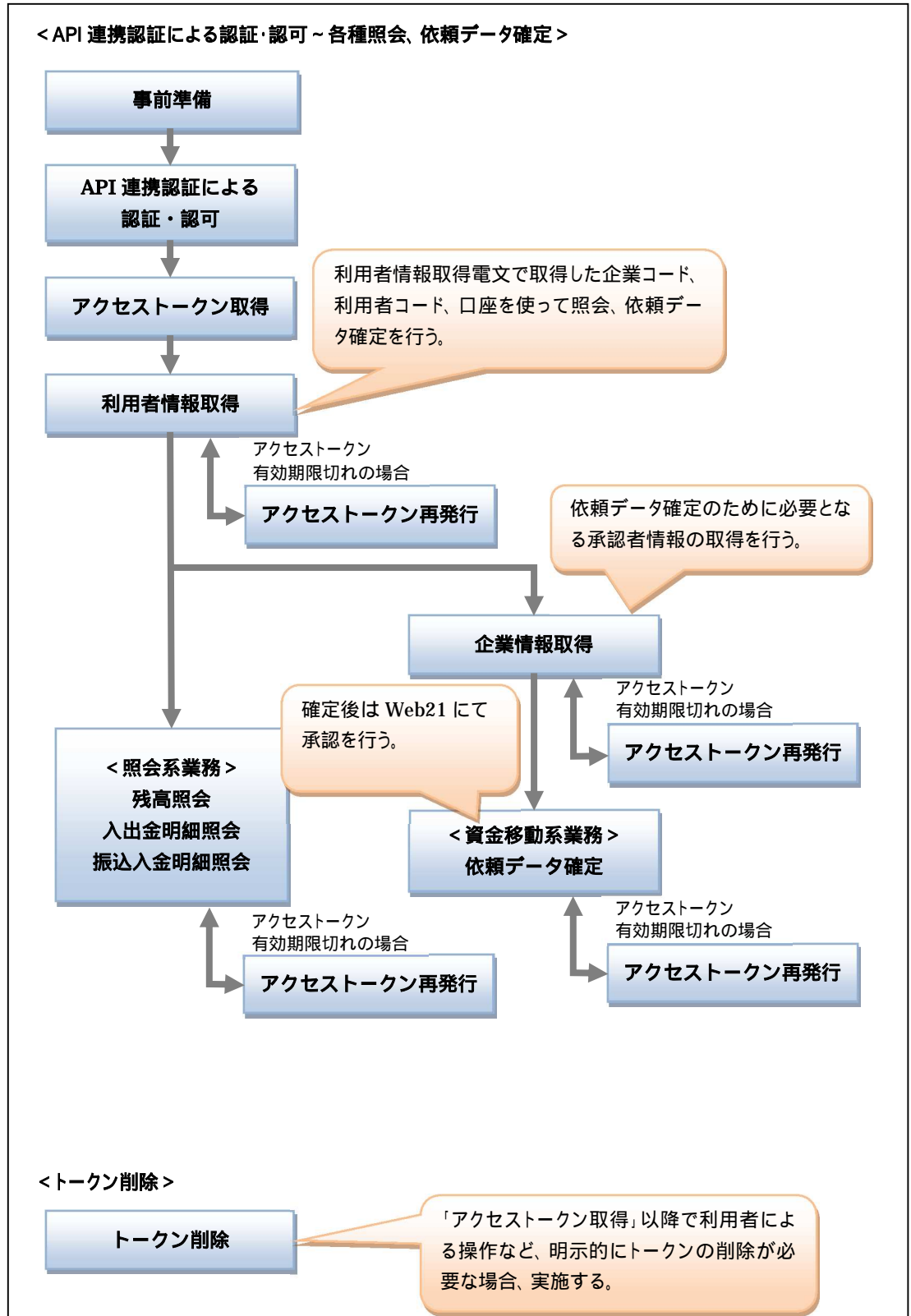


図 4.1.1-1 本サービスの基本フロー

## 4.2 異常時の通信シーケンス

### 4.2.1 異常時処理の概要

#### (1) API 連携認証・認可時のエラー

API 連携認証中にエラーが発生した場合、Web21 にて異常終了画面（BS02）を表示します。異常終了画面で「遷移元画面に戻る」リンクを押下した際、事前に設定したコールバック URL へ遷移します。その際、遷移先 URL のパラメータとしてエラーコード、エラーメッセージを設定します。

#### (2) 依頼データ確定要求電文のエラー、警告

資金移動業務の依頼データ確定要求電文について、Web21 内でのデータチェックにて、エラー、警告となった場合は、異常電文として、応答電文にエラー、警告理由を設定して返却します。警告のみ場合は、依頼データ確定要求電文に問題ない旨の情報を再設定した電文を送信することで正常データとして処理を継続することができます。

#### (3) API 連携時、その他要求電文のエラー

API 連携時、要求電文受信後にエラーなった場合、応答電文の代わりに異常電文を返却します。



## 4.2.2 API 連携認証・認可エラー

### (1) 処理の流れ

API 連携認証・認可エラー時の処理の流れを図 4.2.2-1 に示します。

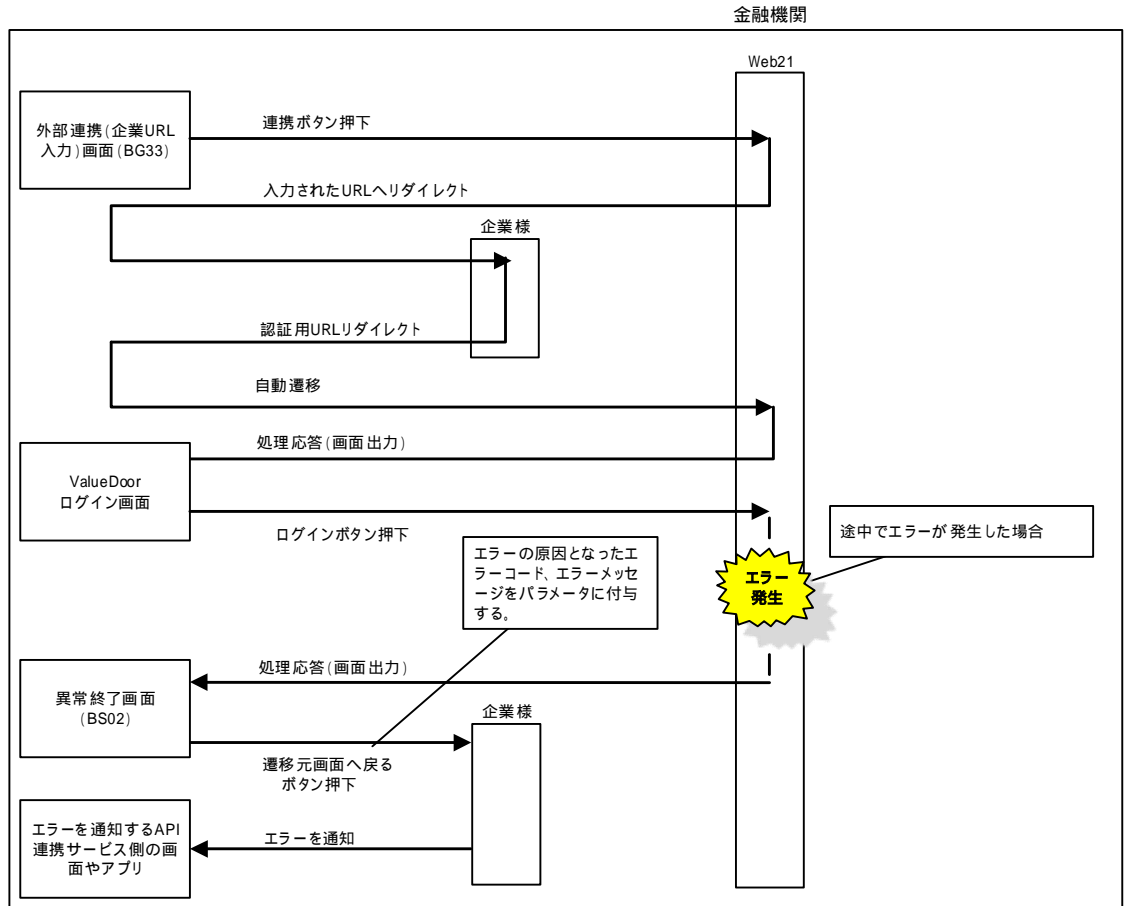


図 4.2.2-1 API 連携認証・認可時のエラー処理の流れ

### (2) 処理概要

利用者は、「外部連携（企業 URL 入力）画面（BG33）」にて URL を入力し「連携」ボタンを押下する。

Web21 は入力された URL ヘリダイレクトを行う。

企業様 API 連携接続システムは、Web21 での認証を行うため、Web21 側の認証用の URL ヘリダイレクトを行う。

Web21 は、企業様 API 連携接続システムからのリダイレクトにより「ValueDoor ログイン画面」を表示する。

利用者は、「ValueDoor ログイン画面」にてログイン情報を入力し、「ログイン」ボタンを押下して認証を行う。

Web21 にて認証・認可処理中にエラーが発生した場合、「異常終了画面（BS02）」を表示する。

利用者は、「異常終了画面（BS02）」にて「遷移元画面に戻る」ボタンを押下する。

企業は、エラーを通知する画面を表示する。

## 4.2.3 依頼データ確定要求電文のエラー

### (1) 処理の流れ

依頼データ確定要求電文のエラー時の処理の流れを図 4.2.3-1 に示します。

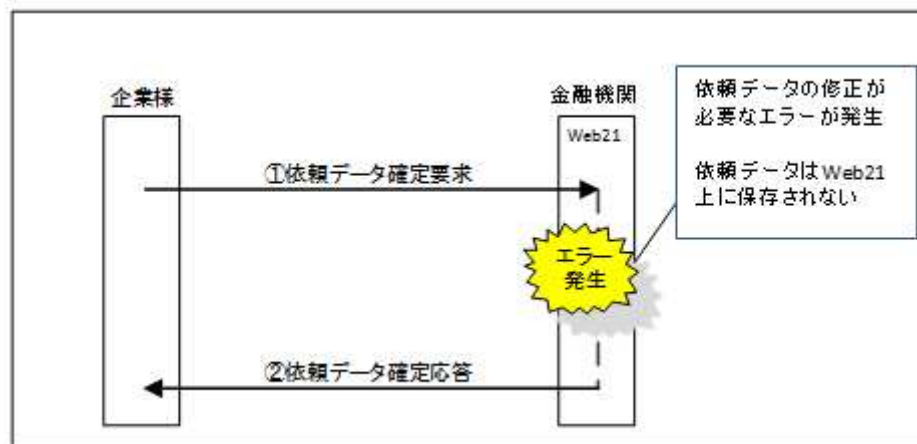


図 4.2.3-1 依頼データ確定要求電文のエラー処理の流れ

### (2) 処理概要

企業様は、Web21 に対して依頼データ確定要求電文を送信する。

Web21 は、依頼データ確定要求電文のデータの内容をチェックし、エラーとなった場合、依頼データ確定応答電文にエラー内容を設定し、企業様に対してを返却する。

エラー・警告メッセージを合算して 2,001 件となった時点で、2,000 件までのエラー・警告内容を返却します。

## 4.2.4 依頼データ確定要求電文の警告

### (1) 処理の流れ

依頼データ確定要求電文の警告時の処理の流れを図 4.2.4-1 に示します。

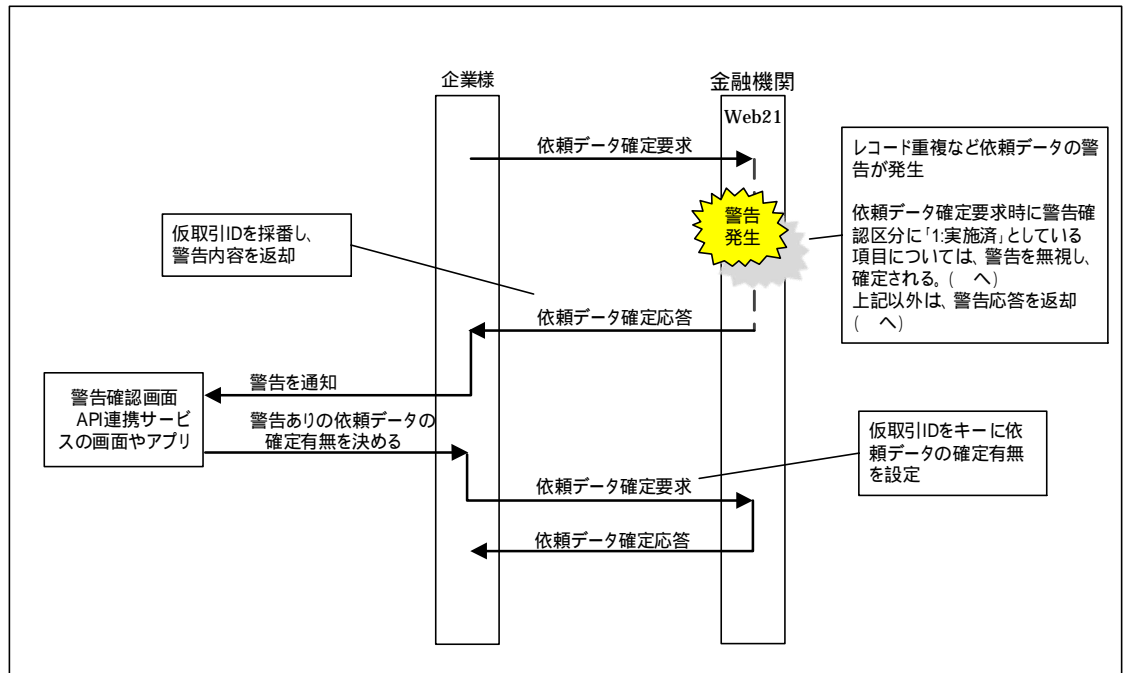


図 4.2.4-1 依頼データ確定要求電文の警告処理の流れ

### (2) 処理概要

企業様は、Web21 に対して依頼データ確定要求電文を送信する。

Web21 は、依頼データ確定要求電文のデータ（以下、依頼データ）の内容をチェックし、警告となった場合、依頼データ確定応答電文に仮取引 ID、警告内容を設定し、企業様に対してを返却する。ただし、依頼データ確定要求電文の警告確認区分に「1：実施済」を設定している内容については、警告応答の対象とせず、確定処理を実施する。（ の処理が行われる。）

企業様は利用者へ警告ありを通知する。

利用者は、警告ありでの取引確定の実施有無を決める。

企業様は、Web21 に対して依頼データ確定要求電文を送信する。再送時の依頼データの設定は、 の時と異なり、仮取引 ID と利用者からの実施有無が必要となり、明細情報などは、Web21 で保存されているため不要となる。

Web21 は、依頼内容が取引確定の場合、依頼データの確定処理を実施し、企業様に対して依頼データ確定応答電文を返却する。

依頼内容が取引キャンセルの場合、依頼データを削除し、企業様に対して依頼データ確定応答電文を返却する。

以降は、通常の操作と同じ流れとなる。

警告メッセージが 2,001 件となった時点で、2,000 件までの警告内容を返却します。警告のみであっても、2,001 件を超えた時点でエラーとして扱います。

## 第5章 通信インタフェース仕様

## 5.1 電文一覧

### 5.1.1 電文一覧

Web21 と連携先アプリケーション間で使用する電文を以下に示します。

表 5.1.1-1 電文一覧(OAuth 認証電文)

項番	電文名	メッセージタイプ	要求方向	メソッド	使用目的
1	リダイレクト(認証)	HTTP リクエスト	C A	GET	利用者に認証・認可を行ってもらうため、利用者端末を經由して ValueDoor へ遷移する。
2	リダイレクト(コールバック)	HTTP レスポンス	A C	-	利用者が行った認証・認可の結果を応答するため、利用者端末に対して企業への遷移を促す電文を送信する。
3	企業 URL 入力画面表示要求	HTTP リクエスト	F A	GET	企業 URL 入力画面の表示を依頼する
4	認可結果画面表示要求	HTTP リクエスト	F A	GET	認可結果画面の表示を依頼する

A: Web21、C: 利用者、F: 企業

表 5.1.1-2 電文一覧(API 連携電文)(1 / 2)

項番	電文名	メッセージタイプ	要求方向	メソッド	使用目的
1	アクセストークン取得要求	HTTP リクエスト	F A	POST	アクセストークンの発行を依頼する。
2	アクセストークン取得応答	HTTP レスポンス	A F	-	発行したアクセストークン、リフレッシュトークン、代表口座情報、企業コード、利用者コードを応答する。
3	アクセストークン再発行要求	HTTP リクエスト	F A	POST	アクセストークンの再発行を依頼する。
4	アクセストークン再発行応答	HTTP レスポンス	A F	-	再発行したアクセストークン、リフレッシュトークンを応答する。
5	トークン削除要求	HTTP リクエスト	F A	POST	認証状態の解除を依頼する。
6	トークン削除応答	HTTP レスポンス	A F	-	認証状態の解除に対して応答する。
7	企業情報取得要求	HTTP リクエスト	F A	GET	依頼データ確定要求に必要な企業の承認者情報の照会を依頼する。
8	企業情報取得応答	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で指定された企業の承認者情報を応答する。

表 5.1.1-2 電文一覧(API連携電文)(2/2)

項番	電文名	メッセージ タイプ	要求 方向	メソッド	使用目的
9	利用者情報取得要求	HTTP リクエスト	F A	GET	利用者が利用可能な全口座および、利用者の各種利用権限の保持状態の照会を依頼する。
10	利用者情報取得応答	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で指定された利用者の利用可能口座と利用可能業務権限を応答する。
11	残高照会要求	HTTP リクエスト	F A	GET	残高照会を依頼する。
12	残高照会応答	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で指定された口座の残高を応答する。
13	入出金明細照会要求	HTTP リクエスト	F A	GET	入出金明細照会を依頼する。
14	入出金明細照会(全銀) 応答	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で指定された口座の入出金明細(全銀)を応答する。
15	振込入金明細照会要求	HTTP リクエスト	F A	GET	振込入金明細照会を依頼する。
16	振込入金明細照会(全銀) 応答	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で指定された口座の振込入金明細(全銀)を応答する。
17	依頼データ確定要求(振込振替)	HTTP リクエスト	F A	POST	振込振替の一時保存または確定を依頼する。
18	依頼データ確定応答(振込振替)	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で依頼された振込振替の処理結果を応答する。
19	依頼データ確定要求(総合振込)	HTTP リクエスト	F A	POST	総合振込の確定を依頼する。
20	依頼データ確定応答(総合振込)	HTTP レスポンス	A F	-	要求電文で依頼された総合振込の処理結果を応答する。
21	異常電文	HTTP レスポンス	A F	-	Web21 内で応答電文送信前にエラーが発生した場合に、エラーコードを設定して送信する。

A: Web21、C: 利用者、F: 企業

## 5.2 本サービス用接続先 URL

### 5.2.1 接続先 URL

企業様から Web21 へ通信する際の接続先 URL はご契約後にご提示いたします。

なお、金融機関により、個別ドメインの利用有無、接続試験環境（日中帯、夜間帯の2種類）が異なります。

表 5.2.1-1 接続先 URL(商用)

項番	インタフェース名	APIGW (SMBC 用 URL)
1	リダイレクト(認証)	ご契約後にご提示いたします。
2	企業 URL 入力画面表示要求	
3	認可結果画面表示要求	
4	アクセストークン取得要求	
5	アクセストークン再発行要求	
6	トークン削除	
7	企業情報取得要求	
8	利用者情報取得要求	
9	残高照会要求	
11	入出金明細照会要求(全銀)	
13	振込入金明細照会要求(全銀)	
14	依頼データ確定要求(振込振替)	
15	依頼データ確定要求(総合振込)	

表 5.2.1-2 接続先 URL(日中帯接続試験)

項番	インタフェース名	APIGW (SMBC 用 URL)
1	リダイレクト(認証)	
2	企業 URL 入力画面表示要求	https://testd.bizsol.anser.ne.jp/0009d/oauth/html_authcode_url
3	認可結果画面表示要求	https://testd.bizsol.anser.ne.jp/0009d/oauth/html_auth_complete
4	アクセストークン取得要求	https://testd.direct-api.bizsol.anser.ne.jp/0009d/api/v3/oauth/token
5	アクセストークン再発行要求	https://testd.direct-api.bizsol.anser.ne.jp/0009d/api/v3/oauth/token_refresh
6	トークン削除	https://testd.direct-api.bizsol.anser.ne.jp/0009d/api/v3/oauth/ revoke
7	企業情報取得要求	*/0009d/apigw/v3/corporation
8	利用者情報取得要求	*/0009d/apigw/v3/user
9	残高照会要求	*/0009d/apigw/v3/accounts/balance
11	入出金明細照会要求(全銀)	*/0009d/apigw/v3/accounts/transactions_jba
13	振込入金明細照会要求(全銀)	*/0009d/apigw/v3/accounts/deposit_transactions_jba
14	依頼データ確定要求(振込振替)	*/0009d/apigw/v3/transfers
15	依頼データ確定要求(総合振込)	*/0009d/apigw/v3/bulk_transfers



## 5.3 企業認証識別子の暗号化方式

### 5.3.1 企業認証識別子の暗号化方式

企業認証識別子は、AES 暗号方式で暗号化していただく必要があります。企業認証識別子の暗号化で必要となる情報については以下のとおりです。

表 5.3.1-1 企業認証識別子の暗号化で必要となる情報

項番	項目	説明
1	暗号アルゴリズム	AES
2	フィードバックモード	CBC
3	パディング	NoPadding
4	鍵長	256bit
5	暗号化キー	クライアント ID ごとに払い出された暗号化キー(8 ~ 32byte)( 1)
6	初期化ベクトル	ご契約後にご提示致します(16byte)( 2)

1: 32byte に満たない場合、不足分を半角スペースで補充する。

2: 16byte に満たない場合、不足分を半角スペースで補充する。

付録

# 付録 1 . 全銀テレ為替文字

本サービスで利用可能な全銀テレ為替文字を下表に示します。

表 付録 1-1 全銀テレ為替文字コード表

		上位16進																
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
下 位 1 6 進	0	NU L	DL E	SP 1	0	@ 4	P	` 3	p				- 3	タ	ミ			
	1	SO H	DC 1	! 4	1	A	Q	a 3	q				。 4	ア	チ	ム		
	2	ST X	DC 2	" 4	2	B	R	b 3	r				「	イ	ツ	メ		
	3	ET X	DC 3	# 4	3	C	S	c 3	s				」	ウ	テ	モ		
	4	EO T	DC 4	\$ 4	4	D	T	d 3	t				、 4	エ	ト	ヤ		
	5	EN Q	NA K	% 4	5	E	U	e 3	u				・ 3	オ	ナ	ユ		
	6	AC K	SY N	& 4	6	F	V	f 3	v				ヲ	カ	コ	ヨ		
	7	BE L	ET B	' 4	7	G	W	g 3	w				ア 3	キ	ヌ	ラ		
	8	BS	CA N	( 4	8	H	X	h 3	x				イ 3	ク	ネ	リ		
	9	HT	EM	) 4	9	I	Y	i 3	y				ウ 3	ケ	ノ	ル		
	A	LF	SU B	* 4	: 4	J	Z	j 3	z				エ 3	コ	ハ	レ		
	B	VT	ES C	+ 4	; 4	K	[ 4	k 3	{ 4				オ 3	サ	ヒ	ロ		
	C	FF	FS	, 2	< 4	L	¥	l 3	 4				ヤ 3	シ	フ	リ		
	D	CR	GS	- 4	= 4	M	] 4	m 3	} 4				ユ 3	ス	ハ	ソ		
	E	SO	RS	. 4	> 4	N	^ 4	n 3	~ 4				ヨ 3	セ	ホ			
	F	SI	US	/ 4	? 4	O	_ 4	o 3	DE L				ッ 3	リ	マ			

網掛け部は、使用不可となる。

- 1 半角スペース(空白)を表す。
- 2 振込メッセージ、振込依頼人名の場合、カンマ「,」は入力不可。ただし、SMBC 利用時は入力可。
- 3 全銀テレ為替文字ではないが、全銀テレ為替文字に変換する。  
 カナ小文字    カナ大文字  
 英小文字    英大文字  
 長音「ー」    ハイフン「-」  
 中点「・」    ビリオド「.」    SMBC 利用時は、入力不可  
 詳細は、「付録 2. 全銀テレ為替文字変換」を参照。
- 4 SMBC 利用時、特定項目でのみ、入力可。  
 詳細は、「表 付録 1-2 SMBC 利用可能文字の対象項目一覧」を参照。

表 付録 1-2 SMBC 利用可能文字の対象項目一覧

項番	電文名	論理項目名
1	入出金明細照会(全銀)応答電文	データレコード1
2		振込依頼人コード
3		振込依頼人名または契約者番号
4		摘要内容
5		EDI 情報
6		データレコード2
7		摘要内容

## 付録 2 . 全銀テレ為替文字変換

全銀テレ為替文字を入力する項目に、全銀テレ為替文字以外の文字を入力した場合、システムにより自動的に類似した全銀テレ為替文字に変換します。なお、その後の処理では変換後の文字が使用されます。全銀テレ為替文字変換については、下表のとおりです。

表 付録 2-1 全銀テレ為替文字変換

項番	置換前文字	置換後文字
1	ア	ア
2	イ	イ
3	ウ	ウ
4	エ	エ
5	オ	オ
6	ツ	ツ
7	ヤ	ヤ
8	ユ	ユ
9	ヨ	ヨ
10	a	A
11	b	B
12	c	C
13	d	D
14	e	E
15	f	F
16	g	G
17	h	H
18	i	I
19	j	J
20	k	K
21	l	L
22	m	M
23	n	N
24	o	O
25	p	P
26	q	Q
27	r	R
28	s	S
29	t	T
30	u	U
31	v	V
32	w	W
33	x	X
34	y	Y
35	z	Z
36	-(長音)	-(ハイフン)
37	.	.

## 付録 3 . システム規定半角文字

本サービスで利用可能な半角文字を下表に示します。

付録 表 システム規定半角文字

1バイト文字					
a	A	ア	マ	0	]
b	B	イ	ミ	1	¥
c	C	ウ	ム	2	*
d	D	エ	メ	3	)
e	E	オ	モ	4	;
f	F	カ	ヤ	5	-
g	G	キ	ユ	6	/
h	H	ク	ヨ	7	^
i	I	ケ	ラ	8	,
j	J	コ	リ	9	%
k	K	サ	ル	SP( 1)	_
l	L	シ	レ	。	>
m	M	ス	ロ	「	?
n	N	セ	ワ	」	:
o	O	ソ	ヲ	,	#
p	P	タ	ン	.	@
q	Q	チ	ア	[	'
r	R	ツ	イ	.	=
s	S	テ	ウ	<	"
t	T	ト	エ	(	'
u	U	ナ	オ	+	'
v	V	ニ	ツ	!	{
w	W	ヌ	ヤ	&	}
x	X	ネ	ユ	-	\$
y	Y	ノ	ヨ	`	~( 2)
z	Z	ハ			
		ヒ			
		フ			
		ハ			
		ホ			

1:半角スペース(空白)を表す

2:PDFで出力する場合、半角の「」(オーバーライン)として表示される

# 付録 4 . システム規定全角文字

本サービスで利用可能な全角文字を下表に示します。

付録 表 システム規定全角文字

項番	種類	区番号	使用可否
1	各種記号	1, 2 区	
2	英数字	3 区	
3	ひらがな・カタカナ	4, 5 区	
4	ギリシャ文字・キリル文字	6, 7 区	
5	罫線素片	8 区	
6	未定義	9 ~ 12 区	×
7	システム外字: NEC 特殊文字 (株、有、 職、 、 など)	13 区	( 1 )
8	未定義	14, 15 区	×
9	第一水準漢字	16 ~ 47 区	
10	第二水準漢字	48 ~ 84 区	
11	未定義	85 ~ 88 区	×
12	システム外字: NEC 選定、IBM 拡張文字	89 ~ 92 区	
13	ユーザ外字領域	93 ~ 114 区	×
14	システム外字: IBM 拡張文字	115 ~ 119 区	( 2 )

凡例 : 使用可 ×: 使用不可

1 SMBC では、以下の文字は使用不可となる。

使用不可文字					
		ミリ	キロ	センチ	メートル
グラム	トン	アル	ヘクタール	リットル	フット
カロ	ドル	セント	パーセント	ミル	インチ
mm	cm	km	mg	kg	cc
m <sup>2</sup>	平方	”	”	KK	Ⓛ
Ⓜ	Ⓣ	Ⓢ	Ⓜ	(有)	(代)
階	証	階			

2 SMBC では、以下の文字は使用不可となる。

使用不可文字					

## 付録5 . インタフェース仕様















利用者情報取得応答電文

項目	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	
1	ステータスライン	HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	HTTPバージョン(HTTP/1.1)を設定する。	
2		ステータスコード(Status-Code)		必須	-	-	-	ステータスコード200が設定される。	
3		リズンフレーズ(Reason-Phrase)		必須	-	-	-	ステータスコードにリズンフレーズOKが設定される、OK:ステータスコードが「200」の場合	
4	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する、 2 Content-Type: application/json;charset=UTF-8	
5		コンテンツ長さ(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。	
6	エンティティボディ	データ (JSON形式) 1	対象口座	target_account	必須	-	数字	2	取得する口座の種類を設定、今後の拡張により、外貨、投資等が増える予定、01:円貨口座
7			対象業務	target_service	必須	-	数字	2	対象の業務を設定する、01:残高照会、02:入出金明細(ANSER)、03:入出金明細(全銀)、04:振込入金明細(ANSER)、05:振込入金明細(全銀)、10:振込振替、20:総合振込、21:給与振込、22:賞与振込、30:振込振替(取引状況照会)、31:総合振込(取引状況照会)、32:給与・賞与振込(取引状況照会)
8			対象口座件数	account_count	必須	-	数字	1-4 (可変長)	口座件数を設定する。
9			口座情報	account_info	-	0-N	-	-	口座情報はデータ設定例のように配列で表現する、1件の場合も同様とする、0件の場合は、パラメータごと削除する、口座情報のソート順は以下とする、支店コード(昇順)、科目コード(昇順)、口座番号(昇順)、Nは最大3,000
10			口座	account	必須	1	数字	6-12 (可変長)	口座情報(支店コード、科目コード、口座番号を連結した値)を取得する。
11			支店名(カナ)	branch_name_kana	任意	1-3	半角・全角	1-19 (可変長)	カナ支店名を設定する、半角15文字以内・店舗属性(全角4文字以内)
12			支店名(漢字)	branch_name_kanji	任意	1-3	全角	1-19 (可変長)	漢字支店名を設定する、全角15文字以内・店舗属性(全角4文字以内)
13			科目名	account_type_name	任意	1-3	全角	1-10 (可変長)	科目名を設定する、全角10文字以内
14			口座番号	account_number	任意	1-3	数字	1-12 (可変長)	口座番号を設定する。
15			振込依頼人情報	tr_cit_info	-	0-N	-	-	委託者情報を設定する、振込依頼人情報、及び、振込依頼人名情報が0件の場合は、パラメータごと削除する、振込依頼人情報のソート順は以下とする、振込依頼人コード(昇順) 設定されている場合のみ
16			振込依頼人コード	tr_cit_cd	任意	1-3	数字	1-10 (可変長)	委託者コードを設定する。
17			振込依頼人名情報	tr_cit_name_info	-	0-N	-	-	委託者名情報を設定する、0件の場合は、パラメータごと削除する、振込依頼人名情報のソート順は以下とする、振込依頼人名(昇順) 設定されている場合のみ
18			振込依頼人名	tr_cit_name	任意	1-3	半角	1-40 (可変長)	委託者名を設定する。
19			残高照会権限保有有無	balance_inquiry_privilege	任意	1-3	数字	1	残高照会権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
20			入出金明細照会(ANSER)権限保有有無	account_activity_privilege	任意	1-3	数字	1	入出金明細照会(ANSER)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
21			入出金明細照会(全銀)権限保有有無	account_activity_zengin_privilege	任意	1-3	数字	1	入出金明細照会(全銀)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
22			振込入金明細照会(ANSER)権限保有有無	transfer_payment_use_privilege	任意	1-3	数字	1	振込入金明細照会(ANSER)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
23			振込入金明細照会(全銀)権限保有有無	transfer_payment_use_zengin_privilege	任意	1-3	数字	1	振込入金明細照会(全銀)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
24			振込振替(依頼)権限保有有無	transfer_request_privilege	任意	1-3	数字	1	振込振替(依頼)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり(都度指定)、2:保有あり(事前登録)、3:保有あり(都度指定/事前登録両方)
25			総合振込(依頼)権限保有有無	comprehensive_transfer_request_privilege	任意	1-3	数字	1	総合振込(依頼)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり(画面入力)、2:保有あり(ファイル受付)、3:保有あり(画面入力/ファイル受付両方)
26			給与・賞与振込(依頼)権限保有有無	salary_bonus_transfer_request_privilege	任意	1-3	数字	1	給与・賞与振込(依頼)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり(画面入力)、2:保有あり(ファイル受付)、3:保有あり(画面入力/ファイル受付両方)
27			取引状況照会(振込振替)権限保有有無	transfer_inquiry_privilege	任意	1-3	数字	1	取引状況照会(振込振替)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
28			取引状況照会(総合振込)権限保有有無	comprehensive_transfer_inquiry_privilege	任意	1-3	数字	1	取引状況照会(総合振込)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
29			取引状況照会(給与・賞与振込)権限保有有無	salary_bonus_transfer_inquiry_privilege	任意	1-3	数字	1	取引状況照会(給与・賞与振込)権限の保有状態を設定する、0:保有なし、1:保有あり
30			振込先上限明細件数(振込振替)	transfer_limit_detail_count	任意	1-3	数字	4	Fintechでチェックする振込振替の振込先上限明細件数を設定する、本項目は対象業務が「10」(振込振替)の場合に設定、振込振替権限が「保有なし」の場合は設定不要
31			振込先上限明細件数(総合振込)	com_tr_limit_detail_count	任意	1-3	数字	5	Fintechでチェックする総合振込の振込先上限明細件数を設定する、本項目は対象業務が「20」(総合振込)の場合に設定、総合振込権限が「保有なし」の場合は設定不要
32			振込先上限明細件数(給与・賞与振込)	sal_bon_tr_limit_detail_count	任意	1-3	数字	5	Fintechでチェックする給与・賞与振込の振込先上限明細件数を設定する、本項目は対象業務が「21」(給与振込)、または、「22」(賞与振込)の場合に設定、給与・賞与振込(依頼)権限が「保有なし」の場合は設定不要

API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考
		ParaSQLにあわせるため、項目は残す。
		給与と賞与は口座情報を別で管理しているため、区分を分ける。
		ANSERの場合、リアル系企業口座TBLの「企業口座店舗コード」、「企業口座預金種別コード」、「企業口座番号入力値」を連結する。
		BizSQLの場合、Nは最大100、SMBCの場合、Nは最大1
	x	BizSQL行のみ使用する
	x	BizSQL行のみ使用する
		SMBCの場合、「0」、および、「1」を設定、事前登録方式がないため、H29.7向け開発において、下記コードは未使用、2:保有あり(事前登録)、3:保有あり(都度指定/事前登録両方)
		BizSQLの場合、「0」-「2」を設定、画面入力、ファイル受付の両方を保有する利用者の場合、申込「依頼データを確定時の取引データ受信区分(総合振込)」を考慮した権限を返却するため、「3」は使用なし、SMBCの場合、「0」、および、「3」を設定、画面入力とファイル受付の権限は分かれていないため、「0」、または、「3」が設定される。
	x	権限は給与・賞与として1つで管理しているため、BizSQLの場合、「0」-「2」を設定、画面入力、ファイル受付の両方を保有する利用者の場合、申込「依頼データを確定時の取引データ受信区分(総合振込)」を考慮した権限を返却するため、「3」は使用なし。
	x	
	x	
		BizSQL/SMBC共に、「1件」固定
		BizSQL 利用者権限「画面入力」 件数パターン「明細件数上限(ブラウザ)」 利用者権限「ファイル受付」 20,000件(API連携の上限)、または件数パターン「明細件数上限(ファイル)」の小さい値 SMBC 利用者が所属する企業が設定した上限件数
	x	BizSQL 利用者権限「画面入力」 件数パターン「明細件数上限(ブラウザ)」 利用者権限「ファイル受付」 20,000件(API連携の上限)、または件数パターン「明細件数上限(ファイル)」の小さい値

1 返却値はすべて文字列とすること、  
2 は半角スペースを表す。  
3 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。

```

データ設定例(成功レスポンス)
<ステータスライン><エンティティヘッダ>
HTTP/1.1 200 OK
Content-Length: 33
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
<エンティティボディ>
{
  "target_account": "01",
  "target_service": "01",
  "account_count": "2",
  "account_info": [
    {
      "account": "115011100001",
      "branch_name_kana": "アキハバラ支店",
      "branch_name_kanji": "秋葉原支店",
      "account_type_name": "普通",
      "account_number": "1100001",
      "tr_clt_info": [
        {
          "tr_clt_cd": "1234567891",
          "tr_clt_name_info": [
            {
              "tr_clt_name": "イワシメ1"
            }
          ]
        }
      ]
    },
    {
      "account": "802111101011",
      "branch_name_kana": "アサカ支店",
      "branch_name_kanji": "赤坂支店",
      "account_type_name": "当座",
      "account_number": "1101011",
      "tr_clt_info": [
        {
          "tr_clt_cd": "1234567892",
          "tr_clt_name_info": [
            {
              "tr_clt_name": "イワシメ2"
            }
          ]
        },
        {
          "tr_clt_cd": "1234567893",
          "tr_clt_name_info": [
            {
              "tr_clt_name": "イワシメ3"
            },
            {
              "tr_clt_name": "イワシメ4"
            }
          ]
        }
      ]
    }
  ],
  "balance_inquiry_privilege": "1"
}
    
```

異常電文

項番	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容
1	ステータスライン	HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	HTTPバージョン'HTTP/1.1'を設定する。
2		ステータスコード(Status-Code)		必須	-	-	-	ステータスコードを設定する。
3		リズンフレーズ(Reason-Phrase)		必須	-	-	-	ステータスコードに応じたリズンフレーズを設定する。 Bad Request:ステータスコードが'400'の場合 Internal Server Error:ステータスコードが'500'の場合
4	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 3 Content-Type: application/json;charset=UTF-8
5		コンテンツ長(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。
6	エンティティボディ	データ (JSON形式) 2	エラーコード	必須	-	英字記号	1-256 (可変長)	エラーコードを設定する。 (例)invalid_request:パラメータ不正
7		エラーメッセージ	error_description	任意 1	-	英数字記号	1-256 (可変長)	エラーメッセージを設定する。(OAuth認証時に設定) 4

API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考

- 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。
- 返却値はすべて文字列とすること。
- は半角スペースを表す。
- 入金明細要求のサービスIDが"24XX"、"27XX"、または、振込入金明細要求のサービスIDが"210A"で要求され、且つ一度でも明細取得後にエラーが発生した場合、エラーメッセージの末尾に""を付与して返却する。

```

データ設定例(エラーレスポンス)
<ステータスライン><エンティティヘッダ>
HTTP/1.1 400 Bad Request
Content-Length: 33
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
<エンティティボディ>
{
  "error": "invalid_request "
}
    
```

注意)JSON形式で返却できない場合について

Webサーバが停止した場合など、BizSQLはJSON形式でのエラー応答を返却できないケースが存在する。

項番	事象	応答内容
1	Webサーバ停止時	Sorryサーバが以下の応答を返却する。 ・HTTPステータスコード:200 ・応答内容:BSSK909.html
2	APサーバ停止時	WEBサーバが以下の応答を返却する。 ・HTTPステータスコード:500 ・応答内容:BSSK910.html
3	APサーバ内で想定外のエラー発生時	APサーバが以下の応答を返却する。 ・HTTPステータスコード:500または510 ・応答内容:BSSK913.htmlまたはBSSK914.html
4	HTTPバージョンが1.0未満の時など	APサーバが以下の応答を返却する。 ・HTTPステータスコード:505などエラー内容に応じたステータスコードを返却 ・応答内容:HTTPヘッダのみ返却

インターフェース設定値補足

項番	項目名	設定値 (http://openid-foundation-japan.github.io/rfc6749.ja.htmlから抜粋)
1	認証処理フロータイプ(response_type)	code:認可コードをリクエストする。 token:アクセストークン(インプリシットグラント)をリクエストする。
2	認可レスポンス返却値(state)	リクエストとコールバックの間で状態を維持するために使用するランダムな値。 認可サーバはリダイレクトによってクライアントに処理を戻す際にこの値を付与する。 このパラメータはクロスサイトリクエストフォージェリを防ぐために用いられるべきである。
3	認可グラントタイプ(grant_type)	アクセストークンリクエスト時は、authorization_code でなければならない。 アクセストークンの更新時は、refresh_token がセットされなければならない。
4	アクセストークンタイプ(token_type)	アクセストークンタイプは、タイプ特有の属性とともに、クライアントが保護されたリソースにリクエストする際アクセストークンを適切に用いるために必要な情報を提供する。クライアントはトークンタイプが想定外のものであるとき、そのアクセストークンを利用してはならない。
5	Bearer Token	セキュリティトークン。 トークンを所有する任意のパーティ(持参人 = bearer)は、「トークンを所有している」という条件を満たさずればそのトークンを利用することができる。 署名無しトークンを利用する際、持参人は、暗号鍵の所持を証明 (proof-of-possession) するよう要求されない。





残高照会応答電文

項番	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容
1	ステータスライン	HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	HTTPバージョン「HTTP/1.1」を設定する。
2		ステータスコード(Status-Code)		必須	-	-	-	ステータスコード200が設定される。
3		リゾンプレーズ(Reason-Phrase)		必須	-	-	-	ステータスコードにリゾンプレーズOKが設定される。 OK:ステータスコードが「200」の場合
4	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 3 Content-Type: application/json;charset=UTF-8
5		コンテンツレングス(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。
6	エンティティボディ (JSON形式) 2	対象口座件数	account_count	必須	-	数字	1-3 (可変長)	口座件数を設定する。
7		照会データ	inquiry_data	-	0-N	-	-	照会データは構造体で表現する。 Nは最大100
8		連絡先名	contact_name	任意 1	-	半角・全角	1-48 (可変長)	連絡先名を設定する。 半角48文字 / 全角23文字以内
9		支店名	branch_name	任意 1	-	半角・全角	1-19 (可変長)	支店名を設定する。 支店名(半角15文字 / 全角15文字以内) + 店舗属性(全角4文字以内)
10		支店コード	branch_code	任意 1	-	数字	3 (固定長)	支店コードを設定する。
11		科目名	account_type_name	任意 1	-	全角	1-10 (可変長)	科目名を設定する。 全角10文字以内
12		口座番号	account_number	任意 1	-	数字	1-12 (可変長)	口座番号を設定する。
13		口座枝番号	account_sub_number	任意 1	-	数字	1-12 (可変長)	口座枝番号を設定する。
14		当日残高タイトル	balance_title	任意 1	-	半角・全角	1-11 (可変長)	当日残高のタイトルを設定する。
15		当日残高	balance	任意 1	-	数字	1-15 (可変長)	当日残高を設定する。 現行通り残高が負の値の場合、マイナス付与して返却される。
16		残高の内他店券タイトル	checks_issued_by_other_banks_title	任意 1	-	半角・全角	1-20 (可変長)	残高の内他店券タイトルを設定する。 半角20文字 / 全角10文字以内
17		残高の内他店券	checks_issued_by_other_banks	任意 1	-	数字	1-14 (可変長)	残高の内他店券を設定する。
18		貸越極度額	overdraft_limit	任意 1	-	数字	1-14 (可変長)	貸越極度額を設定する。
19		お引き出し可能金額タイトル	cash_withdrawal_title	任意 1	-	半角・全角	1-20 (可変長)	お引き出し可能金額タイトルを設定する。
20		お引き出し可能金額	cash_withdrawal	任意 1	-	数字	1-15 (可変長)	お引き出し可能金額を設定する。
21		前日残高タイトル	before_day_title	任意 1	-	半角・全角	1-11 (可変長)	前日残高タイトルを設定する。
22		前日残高	before_day_balance	任意 1	-	数字	1-15 (可変長)	前日残高を設定する。 現行通り前日残高が負の値の場合、マイナス付与して返却される。
23	前月末残高タイトル	before_month_title	任意 1	-	半角・全角	1-10 (可変長)	前月末残高のタイトルを設定する。 半角10文字 / 全角10文字以内	
24	前月末残高	before_month_balance	任意 1	-	数字	1-12 (可変長)	前月末残高を設定する。 現行通り前月末残高が負の値の場合、マイナス付与して返却される。	
25	残高確定(照会)日時	date	任意 1	-	数字	12	BizSQLでは画面上表示していないため、オール0(ゼロ)固定。	

API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考
		SMBCの場合、1固定を設定する。
		SMBCの場合、照会結果が存在しない場合照会データは空で返却する。
	x	SMBCの場合、設定しない。
		「AnserBizSQL 17 残高照会 02」の「残高照会報告電文の設定」に「単一応答: 利用者が選択した口座の照会結果のみを応答している」が設定されている場合に設定する。
	x	SMBCの場合、設定しない。
		BizSQLの場合、1-11桁(半角11文字 / 全角11文字以内) SMBCの場合、1-8桁(半角8文字 / 全角4文字以内)
		BizSQLの場合、1-12桁 SMBCの場合、1-15桁
		BizSQLの場合、1-11桁 SMBCの場合、1-14桁
		BizSQLの場合、1-11桁 SMBCの場合、1-14桁
		BizSQLの場合、1-8桁(半角8文字 / 全角8文字以内) SMBCの場合、1-20桁(半角20文字 / 全角10文字以内)
		BizSQLの場合、1-11桁 SMBCの場合、1-15桁 SMBCの場合、お引き出し可能金額が負の値の場合、マイナス付与して返却される。
		BizSQLの場合、1-11桁(半角11文字 / 全角11文字以内) SMBCの場合、1-8桁(半角8文字 / 全角4文字以内)
		BizSQLの場合、1-12桁 SMBCの場合、1-15桁
	x	SMBCの場合、設定しない。
	x	SMBCの場合、設定しない。

- 1 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。
- 2 返却値はすべて文字列とすること。
- 3 は半角スペースを表す。

データ設定例(成功レスポンス)

```

<ステータスライン>~<エンティティヘッダ>
HTTP/1.1 200 OK
Content-Length: 498
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
<エンティティボディ>
{
  "account_count": "2",
  "inquiry_data": [
    {
      "branch_name": "支店名",
      "account_type_name": "科目",
      "account_number": "00000001",
      "balance_title": "残高",
      "balance": "123400",
      "cash_withdrawal": "11000",
      "date": "201601010203"
    },
    {
      "branch_name": "秋葉原",
      "account_type_name": "普通",
      "account_number": "12345678",
      "balance_title": "融資残高",
      "balance": "22000000",
      "cash_withdrawal": "1111000",
      "date": "201601010203"
    }
  ]
}
    
```

入出金明細照会要求電文

項目	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSOL)	APIGW (SMBC)	備考	
1	リクエストライン	メソッド(Method)		必須	-	-	-	メソッド「GET」を設定する。				
2	リクエストURI(Requset-URI)	BizSOLセンタURL		必須	-	-	-	BizSOLセンタのURLを設定する(BizSOLセンタURL一覧 項目10または11参照)。パソコン ネットによって行う処理を振り分ける。				
3		代表金融機関コード	centercode	任意 1	-	数字	4	JASTEMセンタの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)				
4		金融機関コード	bankcode	任意 1	-	数字	4	郵便連/JAの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)				
5		HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	FintechWEBサーバが使用するHTTPバージョンを設定する。				
6	リクエストヘッダ	ホスト(Host)	Host	内容参照	-	-	-	HTTPバージョンが「HTTP/1.1」の場合に送信先ホスト名、ポート番号を設定する。				
7		アクセストークン(Bearer認証)	Authorization	必須	-	-	-	アクセストークンをBearer認証の形で設定する。 2 (例) Authorization: Bearer				
8		ユーザーエージェント (User-Agent)	User-Agent	必須	-	-	-	要求元は「xxxxxxx(クライアント識別子)」を付加する。				
9		企業認証識別子 (Crypto-Item)	Crypto-Item	任意 5	-	-	-	「DIRECT-API-00011」を暗号化キーで暗号化した値を設定する。				
10	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 2 [VER2.0] Content-Type: application/x-www-form-urlencoded [VER3.0] Content-Type: application/json;charset=UTF-8				
11		コンテンツレングス(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。				
12	エンティティボディ	データ	クライアント識別子	client_id	必須	-	英数字	8	クライアント識別子を設定する。			
13			自動手動モード	auto_manual_mode	必須	-	英字	2	自動手動モードを設定する。利用者の操作契機で電文の送信が行なわれる場合は「MA:手動」を設定し、それ以外の場合は「AU:自動」とする。			
14			企業コード	company_code	必須	-	英数字	12~20 (可変長)	企業コードを設定する。		BizSOLの場合、企業コード(12桁)を設定する。 SMBCの場合、企業コード(14桁)を設定する。	
15			利用者コード	user_code	必須	-	英数字	4~12 (可変長)	利用者コードを設定する。		BizSOLの場合、利用者コード(4桁)を設定する。 SMBCの場合、VID(10桁)を設定する。	
16			口座	account	必須	-	数字	6~12 (可変長)	入出金明細取得対象の口座情報(支店コード、科目コード、口座番号を連結した値)を設定する。			
17			サービスID	service_id	必須	-	英数字	4	照会対象を設定する。 ANSER形式の場合 240A: 未照会の明細を照会(日付指定なし) 9 270A: 未照会の明細を照会(当日指定) 9 270B: 未照会の明細を照会(日付指定) 入出金明細範囲指定開始日付(指定日付)のみ設定する 340A: 照会済みの明細を照会(日付指定なし) 9 370A: 照会済みの明細を照会(当日指定) 9 370B: 照会済みの明細を照会(日付指定) 入出金明細範囲指定開始日付(指定日付)のみ設定する 440A: 全ての明細を照会(全保有明細) 9 470A: 全ての明細を照会(当月) 9 470B: 全ての明細を照会(前々月) 9 470C: 全ての明細を照会(前々月) 9 470D: 全ての明細を照会(日付範囲指定) 入出金明細範囲指定開始日付(指定日付)、入出金明細範囲指定終了日付を設定する 470E: 全ての明細を照会(最近1週間) 9  9...入出金明細範囲指定日付の設定なし "当日指定"など範囲の指定があるものについては、BizSOLセンタで算出する。  全銀形式の場合 A00A: 未照会の明細を照会 8 B00A: 照会済みの明細を照会 8 C00A: 全ての明細を照会 8  8...日付範囲指定する場合に入出金明細範囲指定開始日付(指定日付)、入出金明細範囲指定終了日付を設定する。			SMBCの場合、「C00A」のみ設定される。
18			入出金明細範囲指定開始日付(指定日付)	start_date	任意 1 3	-	数字	8	入出金明細範囲指定開始日付をYYYYMMDD形式で設定する。 ANSERの場合 金融機関申込「入出金明細照会(ANSER)における照会可能期間」による。 全銀の場合(SMBCは対象外) 金融機関申込「上限値設定パターン」における入出金明細(全銀)保有期間による。			
19		入出金明細範囲指定終了日付	end_date	任意 1 3	-	数字	8	入出金明細範囲指定終了日付をYYYYMMDD形式で設定する。				
20		明細キー	detail_key	任意 1 4	-	数字	1~8 (可変長)	明細キーは応答電文の同項目を設定する。 例) 55,000明細の入出金明細情報を取得する場合 1電文目: 0 2電文目: 20000 3電文目: 40000 サービスIDが全銀の場合で設定を省略した場合、0が設定されたものとする。 応答時の明細キーに関わらず、任意の明細キーを設定することも可能とする。	x		BizSOLの場合、設定不要。	
21		セッション情報	session_info	任意 1 4	-	英数字	23~24 (可変長)	初回要求時は設定しない。 初回要求時以外、応答電文の同項目を設定する。 「明細キー」が省略(設定値無し、0を含む)された場合、設定不要(設定された場合は無視する(取得も参照もしない))	x		BizSOLの場合、設定不要。	

- 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。
- は半角スペースを表す。
- SMBCの場合、当項目は必須。
- サービスIDが全銀の場合のみ設定する。ANSERで設定された場合は無視する(取得も参照もしない)ものとする。
- 直接企業連携でない場合、パラメータごと不要。

データ設定

```

<リクエストライン>-<エンティティヘッダ>
GET "BizSOLURL"/api/v3/accounts/transactions.jba HTTP/1.1
Host: www.bizsolanser.ne.jp
Authorization: Bearer xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
User-Agent:xxxxxxx(クライアント識別子)
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Content-Length: 154
<エンティティボディ>
{
  "client_id": "xxxxxxx(クライアント識別子)",
  "auto_manual_mode": "MA",
  "company_code": "0006U0000001",
  "user_code": "Z001",
  "account": "001011234567",
  "service_id": "C00A",
  "start_date": "20170115",
  "end_date": "20170131",
  "detail_key": "0",
  "session_info": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx"
}
    
```

入出金明細照会(全銀)応答電文

項番	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考
1	ステータスライン	HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	HTTPバージョン「HTTP/1.1」を設定する。			
2		ステータスコード(Status-Code)		必須	-	-	-	ステータスコード200が設定される。			
3		リズンフレーズ(Reason-Phrase)		必須	-	-	-	ステータスコードにリズンフレーズOKが設定される。 OK:ステータスコードが「200」の場合			
4	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 3 Content-Type: application/json;charset=UTF-8			
5		コンテンツレングス(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。			
6	エンティティボディ (JSON形式) 2	照会結果	result	必須	-	数字	1	照会結果を設定する。 0:データなし 1:データあり			
7		照会データ	inquiry_data	-	0-1	-	-	照会データは構造体で表現する。 照会結果が「0」(データなし)の場合、照会データは空で返却する。			
8		ヘッダレコード	header_record	-	1	-	-				
9		データ区分	data_div	必須	-	数字	1	データ区分を設定する。			
10		種別コード	cl_cd	必須	-	数字	2	種別コードを設定する。			
11		コード区分	cd_div	必須	-	数字	1	コード区分を設定する。			
12		作成日	make_day	必須	-	数字	6	データ作成日YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
13		勘定日(自)	date_fm	必須	-	数字	6	勘定日(自)YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
14		勘定日(至)	date_to	必須	-	数字	6	勘定日(至)YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
15		銀行コード	bank_cd	必須	-	数字	4	銀行コードを設定する。			
16		銀行名(カナ)	bank_nm	必須	-	半角 4	15	銀行名(カナ)を設定する。			
17		支店コード	branch_cd	必須	-	数字	3	支店コードを設定する。			
18		支店名(カナ)	branch_nm	必須	-	半角 4	15	支店名(カナ)を設定する。			
19		ダミー1	dummy1	必須	-	数字	3	ダミーを設定する。			
20		預金種目	acc_type	必須	-	数字	1	預金種目を設定する。			
21		預金種目名	acc_type_nm	任意 1	-	全角	1-10 (可変長)	預金種目名を設定する。 全角10文字以内			
22		口座番号	acc_num	必須	-	数字	10	口座番号を設定する。			
23		口座名	acc_nm	必須	-	半角 4	40	口座名を設定する。			
24		貸越区分	acc_div	任意 5	-	数字	1	貸越区分を設定する。			
25		通帳・証書区分	pass_div	任意 5	-	数字	1	通帳・証書区分を設定する。			
26		取引前残高	bef_tran	任意 5	-	数字	14	取引前残高を設定する。			
27		ダミー2	dummy2	必須	-	半角 4	71	ダミーを設定する。			
28		データレコード1	data_record1	-	0-N	-	-	データレコード1無しの場合は、0件でデータレコード1は空で返却する。 Nは最大20,000			
29		データ区分	data_div	必須	-	数字	1	データ区分を設定する。			
30		照会番号	inq_num	任意 5	-	数字	8	照会番号を設定する。			
31		勘定日	bill_day	必須	-	数字	6	勘定日YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
32		預入・払出日	dep_day	必須	-	数字	6	預入・払出日YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
33		入払区分	io_div	必須	-	数字	1	入払区分を設定する。			
34		取引区分	tran_div	任意 5	-	数字	2	取引区分を設定する。			
35		取引区分名	tran_div_nm	任意 1	-	全角	1-15 (可変長)	取引区分の名称を設定する。 全角15文字以内			
36		取引金額	tran_am	必須	-	数字	12	取引金額を設定する。			
37		うち他店券金額	ot_am	必須	-	数字	12	うち他店券金額を設定する。			
38		交換日	ex_day	任意 5	-	数字	6	交換日YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
39		不渡返還日	ret_dis_day	任意 5	-	数字	6	不渡返還日YYMMDD(和暦年・月・日)を設定する。			
40		手形・小切手区分	dft_chk_div	任意 5	-	数字	1	手形・小切手区分を設定する。			
41		手形・小切手区分名	dft_chk_div_nm	任意 1	-	全角	1-10 (可変長)	手形・小切手区分の名称を設定する。 全角10文字以内			
42		手形・小切手番号	dft_chk_num	任意 5	-	数字	7	手形・小切手番号を設定する。			
43		像店番号	branch_num	任意 5	-	数字	3	像店番号を設定する。			
44		振込依頼人コード	tr_cit_cd	任意 5	-	半角 4	10	振込依頼人コードを設定する。			
45		振込依頼人名または契約者番号	tr_cit_nm	任意 5	-	半角 4	48	振込依頼人名または契約者番号を設定する。			SMBCの場合、数字以外を許容
46		仕向銀行名	trt_bank_nm	任意 5	-	半角 4	15	仕向銀行名を設定する。			
47		仕向支店名	trt_bra_nm	任意 5	-	半角 4	15	仕向支店名を設定する。			
48		摘要内容	ot_cmt	任意 5	-	半角 4	20	摘要内容を設定する。			
49		EDI情報	edi_inf	任意 5	-	半角 4	20	EDI情報を設定する。			
50		ダミー	dummy	必須	-	半角 4	1	ダミーを設定する。			



```
データ設定例(成功レスポンス)
<ステータスライン><エンティティヘッダ>
HTTP/1.1 200 OK
Content-Length: 4240
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
<エンティティボディ>
{
  "result": "1",
  "inquiry_data": [
    { "header_record": [
      { "data_div": "1",
        "cl_cd": "03",
        "cd_div": "0",
        "make_day": "280910",
        "date_fm": "280910",
        "date_to": "280910",
        "bank_cd": "0009",
        "bank_nm": "三菱",
        "branch_cd": "410",
        "branch_nm": "サカサキ",
        "dummy1": "000",
        "acc_type": "1",
        "acc_type_nm": "普通",
        "acc_num": "0000355368",
        "acc_nm": "ワカサキ",
        "acc_div": "1",
        "pass_div": "1",
        "bef_tranl": "00099028913211",
        "dummy2": ""
      }
    ]
  },
  { "data_record1": [
    { "data_div": "2",
      "inq_num": "03000001",
      "bill_day": "280910",
      "dep_day": "280910",
      "io_dev": "1",
      "trm_div": "11",
      "trm_div_nm": "振込",
      "tran_am": "00000060000",
      "ot_amt": "00000000000",
      "tr_cit_nm": "ワカサキ",
      "trt_bank_nm": "三菱",
      "trt_bra_nm": "サカサキ",
      "ot_cmt": "ワカサキ",
      "dummy": ""
    },
    { "data_div": "2",
      "inq_num": "03000002",
      "bill_day": "280911",
      "dep_day": "280911",
      "io_dev": "1",
      "trm_div": "11",
      "trm_div_nm": "振込",
      "tran_am": "00000060000",
      "ot_amt": "00000000000",
      "tr_cit_nm": "ワカサキ",
      "trt_bank_nm": "三菱",
      "trt_bra_nm": "サカサキ",
      "ot_cmt": "ワカサキ",
      "dummy": ""
    }
  ]
  },
  { "trailer_record": [
    { "data_div": "8",
      "pay_cnt": "000007",
      "dep_total": "000003000000",
      "ct_cnt": "000003",
      "cct_total": "000000500000",
      "acc_div": "1",
      "aft_tran": "0000010000000",
      "data_cnt": "0000002",
      "dummy": ""
    }
  ]
  },
  { "end_record": [
    { "data_div": "9",
      "total_cnt": "000000006",
      "acc_cnt": "00001",
      "dummy": ""
    }
  ]
  }
}
```

振込入金明細照会要求電文

項目	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSOL)	APIGW (SMBC)	備考
1	リクエストライン	メソッド(Method)		必須	-	-	-	メソッド「GET」を設定する。			
2		リクエストURI(Request-URI)	BizSOLセントラURL	必須	-	-	-	BizSOLセントラのURLを設定する(BizSOLセントラURL一覧 項番12または13参照)。パスコンパネントによって行う処理を振り分ける。			
3		代表金融機関コード	centercode	任意 1	-	数字	4	JASTEMセントラの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)		x	
4		金融機関コード	bankcode	任意 1	-	数字	4	県信連/JAの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)		x	
5		HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	FintechWEBサーバが使用するHTTPバージョンを設定する。			
6	リクエストヘッダ	ホスト(Host)	Host	内容参照	-	-	-	HTTPバージョンが「HTTP/1.1」の場合に送信先ホスト名、ポート番号を設定する。			
7		アクセストークン(Bearer認証)	Authorization	必須	-	-	-	アクセストークンをBearer認証の形で設定する。 2 (例)Authorization: Bearer			
8		ユーザーエージェント(User-Agent)	User-Agent	必須	-	-	-	要求元は「xxxxxxx(クライアント識別子)」を付加する。			
9		企業認証識別子(Crypto-Item)	Crypto-Item	任意 5	-	-	-	「DIRECT-API-00012」を暗号化キーで暗号化した値を設定する。			
10	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 2 Content-Type: application/json;charset=UTF-8			
11		コンテンツレングス(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。			
12	エンティティボディ	データ	クライアント識別子	必須	-	英数字	8	クライアント識別子を設定する。			
13		自動手動モード	auto_manual_mode	必須	-	英字	2	自動手動モードを設定する。利用者の操作契機で電文の送信が行なわれる場合は「MA:手動」を設定し、それ以外の場合は「AU:自動」とする。 MA:手動			
14		企業コード	company_code	必須	-	英数字	12-20 (可変長)	企業コードを設定する。			BizSOLの場合、企業コード(12桁)を設定する。 SMBCの場合、企業コード(14桁)を設定する。
15		利用者コード	user_code	必須	-	英数字	4-12 (可変長)	利用者コードを設定する。			BizSOLの場合、利用者コード(4桁)を設定する。 SMBCの場合、VIDID(10桁)を設定する。
16		口座	account	必須	-	数字	6-12 (可変長)	振込入金明細取得対象の口座情報(支店コード、科目コード、口座番号を連結した値)を設定する。			
17		サービスID	service_id	必須	-	英数字	4	照会対象を設定する。 ANSER形式の場合 210A:未照会の明細を照会 310A:照会済みの明細を照会(当日分) 全銀形式の場合 A00A:未照会の明細を照会 B00A:照会済みの明細を照会 C00A:全ての明細を照会 …日付範囲指定する場合に振込入金明細範囲指定開始日付、振込入金明細範囲指定終了日付を設定する。			SMBCの場合、「C00A」のみ設定する。
18		振込入金明細範囲指定開始日付	start_date	任意 1 3	-	数字	8	振込入金明細範囲指定開始日付をYYYYMMDD形式で設定する。 ANSER形式の場合 未使用項目(「振込入金明細範囲指定終了日付」も同様) 全銀形式の場合 金融機関申込「上限値設定パターン」における振込入金明細(全銀)保有期間)による。(SMBCは当条件対象外)			
19		振込入金明細範囲指定終了日付	end_date	任意 1 3	-	数字	8	振込入金明細範囲指定終了日付をYYYYMMDD形式で設定する。			
20		明細キー	detail_key	任意 1 4	-	数字	1-8 (可変長)	明細キーは応答電文の同項目を設定する。 例)55,000明細の振込入金明細情報を取得する場合 1電文目:0 2電文目:20000 3電文目:40000 サービスIDが全銀の場合で設定を省略した場合、0が設定されたものとする。 応答時の明細キーに関わらず、任意の明細キーを設定することも可能とする。	x		SMBCの場合のみ、設定する。
21		セッション情報	session_info	任意 1 4	-	英数字	23-24 (可変長)	初回要求時は設定しない。 初回要求時以外は、応答電文の同項目を設定する。 「明細キー」が省略(設定値無し、0を含む)された場合、設定不要(設定された場合は無視する(取得も参照もしない))	x		SMBCの場合のみ、設定する。

- 1 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。
- 2 は半角スペースを表す。
- 3 SMBCの場合、当項目は必須。
- 4 サービスIDが全銀の場合のみ設定する。ANSERで設定された場合は無視する(取得も参照もしない)ものとする。
- 5 直接企業連携でない場合、パラメータごと不要。

データ設定例

実際のリクエストは「&」で連結されているが、可読性を上げるため「&」で改行したイメージとしている

```

<リクエストライン>-<エンティティヘッダ>
GET "BizSOLURL"/api/v3/accounts/deposit_transactions_jba HTTP/1.1
Host: www.bizsol.anser.ne.jp
Authorization: Bearer xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
User-Agent:xxxxxxx(クライアント識別子)
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Content-Length: 154
<エンティティボディ>
{
  "client_id": "xxxxxxx(クライアント識別子)",
  "auto_manual_mode": "MA",
  "company_code": "0006U0000001",
  "user_code": "Z001",
  "account": "001011234567",
  "service_id": "C00A",
  "start_date": "20170115",
  "end_date": "20170131",
  "detail_key": "0",
  "session_info": "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx"
}
    
```





```

データ設定例(成功レスポンス)
<ステータスライン><エンティティヘッダ>
HTTP/1.1 200 OK
Content-Length: 4240
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
<エンティティボディ>
{
  "result": "1",
  "inquiry_data": [
    {
      "header_record": [
        {
          "data_div": "1",
          "cl_cd": "03",
          "cd_div": "0",
          "make_day": "280910",
          "date_fm": "280910",
          "date_to": "280911",
          "bank_cd": "0009",
          "bank_nm": "三菱",
          "branch_cd": "410",
          "branch_nm": "ササノミヤ",
          "acc_type": "1",
          "acc_type_nm": "普通",
          "acc_num": "0000355368",
          "acc_nm": "ワカサヨロカイ",
          "dummy": ""
        }
      ]
    },
    {
      "data_record": [
        {
          "data_div": "2",
          "inq_num": "03000001",
          "bill_day": "280910",
          "initialdate_of_rockoning": "280909",
          "amount": "00000050000",
          "ot_amt": "00000010000",
          "tr_clt_cd": "128955037",
          "tr_clt_nm": "ワカサヨロカイ",
          "trt_bank_nm": "三菱",
          "trt_bra_nm": "ササノミヤ",
          "dummy": ""
        },
        {
          "data_div": "2",
          "inq_num": "03000001",
          "bill_day": "280911",
          "amount": "00000020000",
          "ot_amt": "00000005000",
          "tr_clt_cd": "1111111111",
          "tr_clt_nm": "ワカサヨロカイ",
          "trt_bank_nm": "三菱",
          "trt_bra_nm": "ササノミヤ",
          "dummy": ""
        }
      ]
    },
    {
      "trailer_record": [
        {
          "data_div": "8",
          "tr_ttl_cnt": "000001",
          "tr_ttl_am": "00000050000",
          "ccl_ttl_cnt": "000001",
          "ccl_ttl_am": "00000020000",
          "dummy": ""
        }
      ]
    },
    {
      "end_record": [
        {
          "data_div": "9",
          "dummy": ""
        }
      ]
    }
  ]
}

```

付録. 資金移動

依頼データ確定要求電文(総合振込)

項目	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考
1	リクエストライン	メソッド(Method)		必須	-	-	-	メソッド「POST」を設定する。			
2	リクエストURI(REQUEST-URI)	BizSQLセンタURL		必須	-	-	-	BizSQLセンタのURLを設定する(BizSQLセンタURL一覧 項番14参照)。パスコンポ ネットによって行う処理を振り分ける。			
3		代表金融機関コード	centercode	任意 1	-	数字	4	JASTEMセンタの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)		x	
4		金融機関コード	bankcode	任意 1	-	数字	4	県信連/JAの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)		x	
5		HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	FintechWEBサーバが使用するHTTPバージョンを設定する。			
6	リクエストヘッダ	ホスト(Host)	Host	内容参照	-	-	-	HTTPバージョンが「HTTP/1.1」の場合に送信先ホスト名、ポート番号を設定する。			
7		アクセストークン(Bearer認証)	Authorization	必須	-	-	-	アクセストークンをBearer認証の形で設定する。 2 (例)Authorization: Bearer			
8		ユーザーエージェント (User-Agent)	User-Agent	必須	-	-	-	要求元は「xxxxxxx(クライアント識別子)」を付加する。			
9		企業認証識別子 (Crypto-Item)	Crypto-Item	任意 8	-	-	-	「DIRECT-API-00030」を暗号化キーで暗号化した値を設定する。			
10	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 2 [VER2.0] Content-Type: application/x-www-form-urlencoded [VER3.0] Content-Type: application/json;charset=UTF-8			
11		コンテンツ長さ(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。			
12	エンティティボディ	データ	クライアント識別子	必須	-	英数字	8	クライアント識別子を設定する。			
13			自動手動モード	必須	-	英字	2	自動手動モードを設定する。利用者の操作契機で電文の送信が行なわれる場合は「MA:手動」を設定し、それ以外の場合は「AU:自動」とする。 AU:自動 MA:手動			
14			企業コード	必須	-	英数字	12~20 (可変長)	企業コードを設定する。			BizSQLの場合、企業コード(12桁)を設定する。 SMBCの場合、企業コード(14桁)を設定する。
15			利用者コード	必須	-	英数字	4~12 (可変長)	利用者コードを設定する。			BizSQLの場合、利用者コード(4桁)を設定する。 SMBCの場合、VUID(10桁)を設定する。
16			仮取引ID	任意 1	-	英数字記号	1~60 (可変長)	仮取引IDを設定する。 初回要求時は設定しない。 依頼データの再送信時に前回依頼データ確定要求にて警告エラー応答時に返却した仮取引IDを設定する。			BizSQLの場合、仮取引ID(15桁)を設定する。 SMBCの場合、仮取引ID(1~60桁)を設定する。
17			警告データ確定フラグ	任意 1	-	数字	1	依頼データ警告エラー時に確定を許容するフラグ 0:確定を許容しない 1:確定を許容する 初回要求時は設定しない。 前回依頼データ確定要求時に振込先明細が重複している等で、警告エラーにて応答時に、確定を許容するか否かを設定する。			
18			警告確認区分	必須	-	半角	10	Fintech側での警告チェック実施フラグ。10桁のビット形式で保持し、警告チェックの実施有無を設定する。 Fintechで実施済のチェックは警告エラーを応答せずに確定する。 0:未実施、1:実施済  各桁に対応する警告チェックは以下とする。 1桁目:振込先明細重複 2桁目:0円明細 3桁目:全銀テレ為替文字置換(全銀テレ為替文字以外を半角スペース等の項目属性に沿った値に置換) 4桁目:金融機関/支店マスタ未存在 5桁目以降は未使用  (例)1100000000 振込先明細重複、0円明細の警告チェックをFintech側で実施済み  警告チェックを実施しないFintech、または、仮取引データの確定要求(2回目電文)の場合、ALL0を設定する。			BizSQLの場合、1~3桁目の設定を有効とする。 SMBCの場合、4桁目の設定を有効とする。
19			確定依頼データ	-	0-1	-	-	「警告データ確定フラグ」が存在する場合、設定不可(設定された場合はエラーとする) 「警告データ確定フラグ」が存在しない場合、設定必須			
20			取引情報	-	1	-	-				
21			取引名	任意 1	-	半角・全角	1~40 (可変長)	取引名を設定する。			BizSQLの場合、半角20文字 / 全角10文字以内 SMBCの場合、半角40文字 / 全角20文字以内
22			ヘッダレコード	-	1	-	-				
23			データ区分	必須	-	数字	1	1:ヘッダレコードを設定する。			
24			種別コード	必須	-	数字	2	21:総合振込を設定する。			
25			コード区分	必須	-	数字	1	0:JISを設定する。			
26			振込依頼人コード	必須 5	-	数字	10	委託者コードを設定する。 右詰め前方0パディング			
27			振込依頼人名	必須 5	-	半角 3	40	委託者名を設定する。 左詰め後方スペースパディング			
28			取組日	必須	-	数字	4	取組日(MMDD)を設定する。			
29			仕向銀行番号	必須 5	-	数字	4	仕向銀行番号を設定する。			
30			仕向銀行名	任意 6	-	半角 3	15	仕向銀行名を設定する。 左詰め後方スペースパディング			
31			仕向支店番号	必須 5	-	数字	3	仕向支店番号を設定する。			
32			仕向支店名	任意 6	-	半角 3	15	仕向支店名を設定する。 左詰め後方スペースパディング			
33			預金種目(依頼人)	必須 5	-	数字	1	預金種目(依頼人)を設定する。			
34			口座番号(依頼人)	必須 5	-	数字	7	口座番号(依頼人)を設定する。 右詰め前方0パディング			
35			ダミー	任意 6	-	半角 3	17				



```

データ設定例(リクエスト)
<リクエストライン>-<エンティティヘッダ>
POST *BizSOLURL*/api/v3/bulk_transfers HTTP/1.1
Host: www.bizsolanser.ne.jp
Authorization: Bearer xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
User-Agent:xxxxxxx(クライアント識別子)
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Content-Length: 3091
<エンティティボディ>
{
  "client_id": "xxxxxxx(クライアント識別子)",
  "auto_manual_mode": "AU",
  "company_code": "0009U0000001",
  "user_code": "Z001",
  "warn_check_div": "100000000",
  "request_data": {
    "tran_info": {
      "tran_name": "正常A-1(確定)"
    },
    "header_record": {
      "data_div": "1",
      "cl_cd": "21",
      "cd_div": "0",
      "tr_clt_cd": "0009001001",
      "tr_clt_nm": "伊勢ヶ崎101970009001001",
      "eft_day": "1209",
      "bank_cd": "0009",
      "bank_nm": "シブタケ300009",
      "branch_cd": "001",
      "branch_nm": "伊勢ヶ崎",
      "acc_type": "1",
      "acc_num": "0900001",
      "dummy": ""
    },
    "data_record": [
      {
        "data_div": "2",
        "num": "1",
        "bank_cd": "0016",
        "bank_nm": "三菱東京-東レト",
        "branch_cd": "112",
        "branch_nm": "伊勢ヶ崎",
        "clhus_num": "0000",
        "acc_type": "1",
        "acc_num": "0900005",
        "rcp_nm": "1930",
        "tr_am": "0000005000",
        "new_cd": "1",
        "cstm_cd_1": "123456",
        "cstm_cd_2": "9876543210",
        "edi_inf": "",
        "tr_div": "7",
        "idfc_cd": "Y",
        "dummy": ""
      },
      {
        "data_div": "2",
        "num": "2",
        "bank_cd": "0033",
        "bank_nm": "シバハシネット",
        "branch_cd": "601",
        "branch_nm": "伊勢ヶ崎",
        "clhus_num": "0000",
        "acc_type": "1",
        "acc_num": "0900007",
        "rcp_nm": "2子イイ",
        "tr_am": "0000005000",
        "new_cd": "1",
        "cstm_cd_1": "",
        "cstm_cd_2": "",
        "edi_inf": "",
        "tr_div": "7",
        "idfc_cd": "Y",
        "dummy": ""
      },
      {
        "data_div": "2",
        "num": "3",
        "bank_cd": "0034",
        "bank_nm": "セブン",
        "branch_cd": "101",
        "branch_nm": "2-イイ",
        "clhus_num": "0000",
        "acc_type": "1",
        "acc_num": "0900008",
        "rcp_nm": "3930",
        "tr_am": "0000005000",
        "new_cd": "1",
        "cstm_cd_1": "",
        "cstm_cd_2": "",
        "edi_inf": "CM421EDI 05-05",
        "tr_div": "7",
        "idfc_cd": "Y",
        "dummy": ""
      }
    ],
    "trailer_record": {
      "data_div": "8",
      "total_cnt": "000003",
      "total_am": "000000015000",
      "dummy": ""
    },
    "end_record": {
      "data_div": "9",
      "dummy": ""
    }
  },
  "app_ptn": "2",
  "auth1": "Z002",
  "auth2": "Z003",
  "comment": "確定コメント"
}

```

依頼データ確定応答電文(総合振込)

項番	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考	
1	ステータスライン	HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	HTTPバージョン「HTTP/1.1」を設定する。				
2		ステータスコード(Status-Code)		必須	-	-	-	ステータスコード200が設定される。				
3		リズンフレーズ(Reason-Phrase)		必須	-	-	-	ステータスコードにリズンフレーズOKが設定される。 OK:ステータスコードが「200」の場合				
4	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 3 Content-Type: application/json;charset=UTF-8				
5		コンテンツレングス(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。				
6	エンティティボディ (JSON形式) 2	取引状態	tran_status	任意 1	-	-	半角	6 依頼データ確定完了、または警告エラー時のみ、取引状態を設定する。 「結果区分」が3:警告エラー(データレコードの警告エラー)の場合 【確定待ち】 000001:仮登録中(警告エラー) 「結果区分」が0:正常の場合 020601:承認待ち 020701:一次承認待ち(順序あり) 020702:二次承認待ち(順序なし)				
7		取引ID	tran_id	任意 1	-	-	英数字記号	1~22 (可変長)	依頼データ確定完了時のみ、取引IDを設定する。 「結果区分」が以下の場合のみ設定する。 0:正常			BizSQLの場合、取引ID(15桁)を設定する。 SMBCの場合、取引ID(1~22桁)を設定する。
8		仮取引ID	tmp_tran_id	任意 1	-	-	英数字記号	1~60 (可変長)	仮取引IDを設定する。 「結果区分」が以下の場合のみ設定する。 3:警告エラー(データレコードの警告エラー)			BizSQLの場合、仮取引ID(15桁)を設定する。 SMBCの場合、仮取引ID(1~60桁)を設定する。
9		振込指定日	tr_day	任意 1	-	-	数字	8	振込指定日をYYYYMMDD形式で設定する。			
10		取引名	tran_name	任意 1	-	-	半角・全角	1~40 (可変長)	取引名を設定する。 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角・全角スペースの場合、値が省略される)			BizSQLの場合、半角20文字 / 全角10文字以内 SMBCの場合、半角40文字 / 全角20文字以内
11		結果区分	result_division	必須	-	-	数字	1	処理結果を設定する。 0:正常 1:取引エラー (ファイルレイアウト、ヘッダ・トレイラレコード等のエラー) 2:明細エラー(データレコードのエラー) 3:警告エラー(データレコードの警告エラー) 全てのエラーが警告エラーのみ			
12		取引エラーデータ	tran_error_data	任意 1	1-N	-	-	-	「結果区分」が以下の場合設定する。 1:取引エラー (ファイルレイアウト、ヘッダ・トレイラレコード等のエラー) 2:明細エラー(データレコードのエラー) 3:警告エラー(データレコードの警告エラー)			
13		エラーメッセージID(取引)	err_msg_id	必須	-	-	英数字記号	10	取引データ全体に対するエラーメッセージIDを設定する。 記号は「*」(半角ハイフン)のみ設定可能			
14		エラーメッセージ本文(取引)	err_msg	必須	-	-	半角・全角	1~2048 (可変長)	取引データ全体に対するエラーメッセージを設定する。			
15		明細エラーデータ	detail_error_data	任意 1	1	-	-	-	「結果区分」が以下の場合設定する。 2:明細エラー(データレコードのエラー) 3:警告エラー(データレコードの警告エラー)			
16		振込先情報	payee_info	-	1-N	-	-	-	Nの最大は2,000			
17		明細番号	num	必須	-	-	数字	1~5 (可変長)	明細番号を設定する。			
18		被仕向銀行番号	bank_cd	必須	-	-	数字	4	被仕向銀行番号を設定する。			
19		被仕向銀行名(カナ)	bank_nm	任意 1	-	-	半角	1~15 (可変長)	被仕向銀行名(カナ)を設定する。 4 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)			
20		被仕向支店番号	branch_cd	必須	-	-	数字	3	被仕向支店番号を設定する。			
21	被仕向支店名(カナ)	branch_nm	任意 1	-	-	半角	1~15 (可変長)	被仕向支店名(カナ)を設定する。 4 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)				
22	預金種目	acc_type	必須	-	-	数字	1	預金種目を設定する。				
23	預金種目名	acc_type_nm	任意 1	-	-	全角	1~10 (可変長)	預金種目名を設定する。 全角10文字以内 「預金種目」に対して「預金種目名」が引当て可能な場合のみ設定				
24	口座番号	acc_num	必須	-	-	数字	7	口座番号を設定する。 右詰め前方0パディング				
25	受取人名(カナ)	rcp_nm	必須	-	-	半角	1~30 (可変長)	受取人名(カナ)を設定する。 4 後ろスペースをトリムして設定				
26	振込金額	tr_am	必須	-	-	数字	1~10 (可変長)	振込金額を設定する。 前0をトリムして設定(ALL0の場合、0(1桁)が設定される)				
27	顧客コード1	cstm_cd_1	任意 1	-	-	半角	1~10 (可変長)	識別表示欄が「Y」以外の場合、顧客コード1を設定する。 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)				
28	顧客コード2	cstm_cd_2	任意 1	-	-	半角	1~10 (可変長)	識別表示欄が「Y」以外の場合、顧客コード2を設定する。 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)				
29	EDI情報	edi_inf	任意 1	-	-	半角	1~20 (可変長)	識別表示欄が「Y」の場合、EDI情報を設定する。 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)				
30	識別表示	idfc_cd	任意 1	-	-	半角	1	識別表示を設定する。 Y:EDIとして使用 Y以外:顧客コードとして使用				
31	明細エラー情報	detail_error_info	必須	1-N	-	-	-					
32	エラーメッセージID(データ)	err_msg_id	必須	-	-	英数字記号	10	振込先情報に対するエラーメッセージIDを設定する。 記号は「*」(半角ハイフン)のみ設定可能				
33	エラーメッセージ本文(データ)	err_msg	必須	-	-	半角・全角	1~2048 (可変長)	振込先情報に対するエラーメッセージを設定する。				

1 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。  
2 返却値はすべて文字列とすること。  
3 は半角スペースを表す。  
4 SMBCの場合、項目順にチェックを実施し、チェックエラーとなった時点でエラー明細を設定する。  
・チェック正常項目:全銀テレ為替文字変換後の値を設定  
・チェックエラー項目:全銀テレ為替文字変換前の値を設定  
・未チェック項目:全銀テレ為替文字変換前の値を設定

## データ設定例(成功レスポンス)

&lt;ステータスライン&gt;&lt;エンティティヘッダ&gt;

HTTP/1.1 200 OK

Content-Length: 137

Content-Type: application/json;charset=UTF-8

&lt;エンティティボディ&gt;

```
{
  "tran_status": "000001",
  "tmp_tran_id": "S1710070000016",
  "result_division": "3",
  "tran_error_data": [
    {
      "err_msg_id": "BZBW311203",
      "err_msg": "同一の振込先が複数登録されています。"
    }
  ]
  "detail_error_data": [
    {
      "payee_info": [
        {
          "num": "5",
          "bank_cd": "1234",
          "bank_nm": "1234キョウ",
          "branch_cd": "987",
          "branch_nm": "987テン",
          "acc_type": "1",
          "acc_type_nm": "普通",
          "acc_num": "1234567",
          "rcp_nm": "カク付コ",
          "tr_am": "50000",
          "cstm_cd_1": "0120931503",
          "cstm_cd_2": "4789264425",
          "idfc_cd": "C",
          "detail_error_info": [
            {
              "err_msg_id": "BZBW311247",
              "err_msg": "振込先が重複しています。"
            }
          ]
        }
      ]
    },
    {
      "num": "20000",
      "bank_cd": "1234",
      "bank_nm": "1234キョウ",
      "branch_cd": "987",
      "branch_nm": "987テン",
      "acc_type": "1",
      "acc_type_nm": "普通",
      "acc_num": "1234567",
      "rcp_nm": "カク付コ",
      "tr_am": "50000",
      "edi_inf": "01209315034789264425",
      "idfc_cd": "Y",
      "detail_error_info": [
        {
          "err_msg_id": "BZBW311247",
          "err_msg": "振込先が重複しています。"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

依頼データ確定要求電文(振込振替)

項目	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSOL)	APIGW (SMBC)	備考
1	リクエストライン	メソッド(Method)		必須	-	-	-	メソッド「POST」を設定する。			
2		リクエストURI(Request-URI)	BizSOLセントラURL	必須	-	-	-	BizSOLセントラのURLを設定する(BizSOLセントラURL一覧 項番16参照)。パスコンポ ネットによって行う処理を振り分ける。			
3		代表金融機関コード	centercode	任意 1	-	数字	4	JASTEMセントラの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)		x	
4		金融機関コード	bankcode	任意 1	-	数字	4	県信連/JAの金融機関コードを設定する。(JASTEMでの接続時は必須)		x	
5		HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	FintechWEBサーバが使用するHTTPバージョンを設定する。			
6	リクエストヘッダ	ホスト(Host)	Host	内容参照	-	-	-	HTTPバージョンが「HTTP/1.1」の場合に送信先ホスト名、ポート番号を設定する。			
7		アクセストークン(Bearer認証)	Authorization	必須	-	-	-	アクセストークンをBearer認証の形で設定する。 2 (例)Authorization: Bearer			
8		ユーザーエージェント(User-Agent)	User-Agent	必須	-	-	-	要求元は「xxxxxxx(クライアント識別子)」を付加する。			
9		企業認証識別子(Crypto-Item)	Crypto-Item	任意 6	-	-	-	「DIRECT-API-00020」を暗号化キーで暗号化した値を設定する。			
10	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 2 Content-Type: application/json;charset=UTF-8			
11		コンテンツレングス(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。			
12	エンティティボディ	データ	クライアント識別子	必須	-	英数字	8	クライアント識別子を設定する。			
13			自動手動モード	必須	-	英字	2	自動手動モードを設定する。利用者の操作契機で電文の送信が行なわれる場合は「MA:手動」を設定し、それ以外の場合は「AU:自動」とする。 AU:自動 MA:手動			
14			利用メディア	任意 1	-	数字	1	利用メディアを設定する。 1:ブラウザ 2:スマートフォン		x	BizSOL行のみ使用する
15			企業コード	必須	-	英数字	12-20 (可変長)	企業コードを設定する。			BizSOLの場合、企業コード(12桁)を設定する。 SMBCの場合、企業コード(14桁)を設定する。
16			利用者コード	必須	-	英数字	4-12 (可変長)	利用者コードを設定する。			BizSOLの場合、利用者コード(4桁)を設定する。 SMBCの場合、VIDID(10桁)を設定する。
17			仮取引ID	任意 1	-	英数字記号	1-60 (可変長)	仮取引IDを設定する。 初回要求時は設定しない。 依頼データの再送信時に前回依頼データ確定要求にて警告エラー応答時に返却した仮取引IDを設定する。			BizSOLの場合、仮取引ID(15桁)を設定する。 SMBCの場合、仮取引ID(1-60桁)を設定する。
18			警告データ確定フラグ	任意 1	-	数字	1	依頼データ確定フラグに確定を許可するフラグ 0:確定を許可しない 1:確定を許可する 初回要求時は設定しない。 前回依頼データ確定要求時に振込指定日翌営業日扱い等で、警告エラーにて応答時に、確定を許可するか否かを設定する。			
19			警告確認区分	必須	-	半角	10	Fintech側での警告チェック実施フラグ。 10桁のビット形式で保持し、警告チェックの実施有無を設定する。 Fintechで実施済のチェックは警告エラーを応答せずに確定する。 0:未実施、1:実施済 各桁に対応する警告チェックは以下とする。 1桁目:金融機関/支店マスタ未存在 2桁目:振込指定日翌営業日扱い (振込指定日が当日で、当日扱いの受付時間超過) 3桁目:未使用 4桁目:振込指定日がデビュ-契約の無料期間終了日 (Web21サービスを継続しない場合は、結果の確認や予約取消不可) 5桁目以降は未使用 (例)1100000000 金融機関/支店マスタ未存在、振込指定日翌営業日扱いの警告チェックをFintech側で実施済み 警告チェックを実施しないFintech、または、仮取引データの確定要求(2回目電文)の場合、ALL0を設定する。			BizSOLの場合、2桁目の設定を有効とする。 SMBCの場合、1、2、4桁目の設定を有効とする。
20			確定依頼データ	-	-	-	-	確定依頼データは構造体で表現する。 「警告データ確定フラグ」が存在する場合、設定不可(設定された場合はエラーとする) 「警告データ確定フラグ」が存在しない場合、設定必須			
21			取引情報	-	1	-	-				
22			振込指定日	必須	-	数字	8	振込指定日をYYYYMMDD形式で設定する。			
23			取引名	任意 1	-	半角・全角	1-40 (可変長)	取引名を設定する。			BizSOLの場合、半角20文字 / 全角10文字以内 SMBCの場合、半角40文字 / 全角20文字以内
24			振込振替識別フラグ	任意 1 3	-	数字	1	振込振替識別フラグを設定する。 1:振込 2:振替		x	BizSOLの場合、設定不要。 (設定された場合は無視する(取得も参照もしない))
25			ヘッダレコード	-	1	-	-				
26			仕向銀行番号	必須	-	数字	4	仕向銀行番号を設定する。			
27			仕向銀行名	任意 1	-	半角 4	1-15 (可変長)	仕向銀行名を設定する。			
28			仕向支店番号	必須	-	数字	3	仕向支店番号を設定する。			
29			仕向支店名	任意 1	-	半角 4	1-15 (可変長)	仕向支店名を設定する。			
30			預金種目(依頼人)	必須	-	数字	2	預金種目(依頼人)を設定する。			
31			口座番号(依頼人)	必須	-	数字	1-7 (可変長)	口座番号(依頼人)を設定する。			
32			振込依頼人名	任意 1 3	-	半角 4	1-40 (可変長)	振込依頼人名を設定する。		x	BizSOLの場合、設定不要。 (設定された場合は無視する(取得も参照もしない))
33			データレコード	-	1-N	-	-	データレコードは構造体で表現する。 1件固定(将来的にN件対応予定)			
34			明細番号	必須	-	数字	1-4 (可変長)	明細番号を設定する。			
35			被仕向銀行番号	必須	-	数字	4	被仕向銀行番号を設定する。			
36			被仕向銀行名	任意 1	-	半角 4	1-15 (可変長)	被仕向銀行名を設定する。			
37			被仕向支店番号	必須	-	数字	3	被仕向支店番号を設定する。			
38			被仕向支店名	任意 1	-	半角 4	1-15 (可変長)	被仕向支店名を設定する。			
39			預金種目	必須	-	数字	2	預金種目を設定する。			
40			口座番号	必須	-	数字	1-7 (可変長)	口座番号を設定する。			BizSOLの場合、口座番号(2-7桁)を設定する。 SMBCの場合、口座番号(1-7桁)を設定する。
41			受取人名	任意 1	-	半角 4 5	1-30 (可変長)	受取人名を設定する。			
42			支払金額	必須	-	数字	1-12 (可変長)	支払金額を設定する。 先方負担手数料とする場合、先方負担手数料金額を含む金額を指定			BizSOLの場合、支払金額(1-11桁)を設定する。 SMBCの場合、支払金額(1-12桁)を設定する。
43			手数料負担区分	必須	-	数字	1	手数料負担区分を設定する。 0:当方負担手数料 1:先方負担手数料(登録金額) 2:先方負担手数料(指定金額)			先方負担手数料とする場合、以下を設定する。 ・BizSOL行: "2"(先方負担手数料(指定金額))を設定 ・SMBC: "1"(先方負担手数料(指定金額))を設定
44			先方負担手数料金額	任意 1	-	数字	1-5 (可変長)	先方負担手数料金額を設定する。		x	SMBCの場合、設定不要。 (設定された場合は無視する(取得も参照もしない))
45			ED:情報	任意 1	-	半角 5	1-20 (可変長)	ED:情報区分に応じた値を設定する。		x	SMBCの場合、設定不要。 (設定された場合は無視する(取得も参照もしない))
46			ED:情報区分	任意 1	-	数字	1	振込時のED:情報区分 0:振込メッセージ 1:振込依頼人名		x	SMBCの場合、設定不要。 (設定された場合は無視する(取得も参照もしない))

47		トレーラレコード	trailer_record	-	1	-	-	
48		合計件数	total_cnt	必須	-	数字	1~4 (可変長)	合計件数を設定する。
49		合計金額	total.am	必須	-	数字	1~16 (可変長)	合計金額を設定する。
50		承認パターン区分	app_ptn	必須	-	数字	1	承認方式を設定する。 0:承認なし 1:シングル承認 2:ダブル承認(順序あり) 3:ダブル承認(順序なし)
51		第一承認者コード	auth1	任意 1 3	-	英数字	4~12 (可変長)	第一承認者の利用者コードを設定する。
52		第二承認者コード	auth2	任意 1	-	英数字	4~12 (可変長)	第二承認者の利用者コードを設定する。
53		コメント	comment	任意 1	-	半角・全角	1~240 (可変長)	コメントを設定する。

								SMBCの場合、'3:ダブル承認(順序なし)'は未使用。
								BizSOLの場合、利用者コード(4桁)を設定する。 SMBCの場合、VDID(10桁)を設定する。
								BizSOLの場合、利用者コード(4桁)を設定する。 SMBCの場合、VDID(10桁)を設定する。
	x							BizSOLの場合、半角240文字 / 全角120文字以内 SMBCの場合、設定不要。 (設定された場合は無視する(取得も参照もしない))

- 1 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。
- 2 は半角スペースを表す。
- 3 SMBCの場合、当項目は必須
- 4 SMBCの場合、全銀テレ為替文字を表す。
- 5 BizSOLの場合、全銀テレ為替文字を表す。
- 6 直接企業連携でない場合、パラメータごと不要。

データ設定例(リクエスト)

```

<リクエストライン><エンティティヘッダ>
POST "BizSOLURL"/api/v3/transfers HTTP/1.1
Host: www.bizsolanser.ne.jp
Authorization: Bearer xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
User-Agent:xxxxxxx(クライアント識別子)
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Content-Length: 577
<エンティティボディ>
{
  "client_id": "xxxxxxx(クライアント識別子)",
  "auto_manual_mode": "AU",
  "media": "1",
  "company_code": "0016U0000001",
  "user_code": "Z003",
  "warn_check_div": "1100000000",
  "request_data": {
    "tran_info": {
      "tr_day": "20070401",
      "tran_name": "4月支払",
      "transfer_flg": "1"
    },
    "header_record": {
      "bank_cd": "0001",
      "bank_nm": "株式会社",
      "branch_cd": "001",
      "branch_nm": "株式会社",
      "acc_type": "01",
      "acc_num": "0900001",
      "tr_clt_name": "株式会社"
    },
    "data_record": [
      {
        "num": "1",
        "bank_cd": "0017",
        "bank_nm": "株式会社",
        "branch_cd": "582",
        "branch_nm": "株式会社",
        "acc_type": "01",
        "acc_num": "1111111",
        "rcp_nm": "株式会社",
        "payment": "000000050000",
        "cms_div": "2",
        "user_cms": "010000",
        "edi_inf": "CM421EDI 05-05",
        "edi_inf_div": "0"
      }
    ],
    "trailer_record": {
      "total_cnt": "0008",
      "total.am": "000000000050000"
    }
  },
  "app_ptn": "2",
  "auth1": "Z002",
  "auth2": "Z003",
  "comment": "ご確認ください"
}

```



依頼データ確定応答電文(振込振替)

項目	設定先	項目名	パラメータ名	設定	繰り返し	属性	桁数 文字数	内容	API連携 (BizSQL)	APIGW (SMBC)	備考	
1	ステータスライン	HTTPバージョン(HTTP-Version)		必須	-	-	-	HTTPバージョン'HTTP/1.1'を設定する。				
2		ステータスコード(Status-Code)		必須	-	-	-	ステータスコード200が設定される。				
3		リズンフレーズ(Reason-Phrase)		必須	-	-	-	ステータスコードにリズンフレーズOKが設定される。 OK:ステータスコードが'200'の場合				
4	エンティティヘッダ	コンテンツタイプ(Content-Type)	Content-Type	必須	-	-	-	エンティティボディの形式を設定する。 3 Content-Type: application/json;charset=UTF-8				
5		コンテンツ長さ(Content-Length)	Content-Length	必須	-	-	-	エンティティボディのサイズを設定する。				
6	エンティティボディ	データ (JSON形式) 2	取引状態	任意	1	-	半角	6	依頼データ確定完了、または警告エラー時のみ、取引状態を設定する。 いずれかの明細の'明細結果区分'に以下が含まれる場合 3:警告エラー(データレコードの警告エラー) 4:取引警告エラー(取引に関する警告エラー) 5:取引/明細警告エラー(明細警告エラーと取引警告エラーがそれぞれ存在する) 【確定待ち】 000001:仮登録中(警告エラー) 【結果区分、が0:正常の場合】 【保存中】 010101:保存中 【承認待ち】(承認待ち) 020601:承認待ち 【承認待ち】(一次承認待ち) 020701:一次承認待ち(順序あり) 020702:一次承認待ち(順序なし)			SMBCの場合、'010101:保存中'、'020702:一次承認待ち(順序なし)'は未使用
7		保存ID	save_id	任意	1	-	英数字	15	承認なしの依頼データ確定完了時のみ、保存IDを設定する。 【結果区分、が以下の場合のみ設定する。】 0:正常		x	SMBCの場合、設定しない。
8		仮取引ID	tmp_tran_id	任意	1	-	英数字記号	1-60 (可変長)	仮取引IDを設定する。 【結果区分、が以下の場合のみ設定する。】 3:正常、取引エラー、明細エラー以外			BizSQLの場合、設定しない。 SMBCの場合、仮取引ID(1-60桁)を設定する。
9		振込指定日	tr_day	任意	1	-	数字	8	振込指定日をYYYYMMDD形式で設定する。			
10		取引名	tran_name	任意	1	-	半角・全角	1-40 (可変長)	取引名を設定する。 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角・全角スペースの場合、値が省略される)			BizSQLの場合、半角20文字 / 全角10文字以内 SMBCの場合、半角40文字 / 全角20文字以内
11		振込振替識別フラグ	transfer_flg	任意	1	-	数字	1	振込振替識別フラグを設定する。 1:振込 2:振替		x	BizSQLの場合、設定しない。
12		結果区分	result_division	必須	-	-	数字	1	処理結果を設定する。 0:正常 1:取引エラー (ファイルレイアウト、ヘッダ・トレーレコード等のエラー) 2:明細エラー(データレコードのエラー) 3:正常、取引エラー、明細エラー以外			BizSQLの場合、'3:正常、取引エラー、明細エラー以外'は未使用
13		取引エラーデータ	tran_error_data	任意	1	1-N	-	-	【結果区分、が以下の場合設定する。】 1:取引エラー (ファイルレイアウト、ヘッダ・トレーレコード等のエラー) 2:明細エラー(データレコードのエラー) 3:正常、取引エラー、明細エラー以外			
14		エラーメッセージID(取引)	err_msg_id	必須	-	-	英数字記号	10	取引データ全体に対するエラーメッセージIDを設定する。 記号は'-'(半角ハイフン)のみ設定可能			
15		エラーメッセージ本文(取引)	err_msg	必須	-	-	半角・全角	1-2048 (可変長)	取引データ全体に対するエラーメッセージを設定する。			
16		明細データ	detail_data	任意	1	1	-	-	【結果区分、が以下の場合設定する。】 0:正常 依頼データ確定要求電文(振込振替)の'警告データ確定フラグ'が'0'(確定を許容しない)の場合は設定しない。 2:明細エラー(データレコードのエラー) エラーとなった明細データ1件分のみ設定される 3:正常、取引エラー、明細エラー以外 要求された全明細データが設定される			BizSQLの場合、かつ承認なしの0:正常の場合、設定する情報が存在しない為、パラメータ不要
17		振込先情報	payee_info	-	-	1-N	-	-	Nの最大は2,000			
18		明細結果区分	detail_result_div	必須	-	-	数字	1	処理結果を設定する。 0:正常 2:明細エラー(データレコードのエラー) 3:明細警告エラー(データレコードの警告エラー) 全てのエラーが警告エラーのみ 4:取引警告エラー(取引に関する警告エラー) 5:取引/明細警告エラー(明細警告エラーと取引警告エラーがそれぞれ存在する)			結果区分が'1:取引エラー'の場合、明細データ自体が設定されないため、本項目において'1:取引エラー'は未使用とする。 BizSQLの場合、'3:明細警告エラー'、'4:取引警告エラー'、'5:取引/明細警告エラー'は未使用。
19		取引ID	tran_id	任意	1	-	英数字記号	1-22 (可変長)	承認ありの依頼データ確定完了時のみ、取引IDを設定する。 【結果区分、が以下の場合のみ設定する。】 0:正常			BizSQLの場合、取引ID(15桁)を設定する。 SMBCの場合、取引ID(1-22桁)を設定する。
20		明細番号	num	必須	-	-	数字	1-4 (可変長)	明細番号を設定する。			
21		被仕向銀行番号	bank_cd	任意	1	-	数字	4	被仕向銀行番号を設定する。			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
22		被仕向銀行名(カナ)	bank_nm	任意	1	-	半角	1-15 (可変長)	被仕向銀行名(カナ)を設定する。 4 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
23		被仕向支店番号	branch_cd	任意	1	-	数字	3	被仕向支店番号を設定する。			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
24		被仕向支店名(カナ)	branch_nm	任意	1	-	半角	1-15 (可変長)	被仕向支店名(カナ)を設定する。 4 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
25		預金種目	acc_type	任意	1	-	数字	2	預金種目を設定する。			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
26		預金種目名	acc_type_nm	任意	1	-	全角	1-10 (可変長)	預金種目名を設定する。 全角10文字以内 【預金種目、に対して'預金種目名、が引当て可能な場合のみ設定】			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
27		口座番号	acc_num	任意	1	-	数字	1-7 (可変長)	口座番号を設定する。			BizSQLの場合、口座番号(2-7桁)を設定する。 SMBCの場合、口座番号(1-7桁)を設定する。なお、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
28		受取人名(カナ)	rcp_nm	任意	1	-	半角	1-30 (可変長)	受取人名(カナ)を設定する。 4 後ろスペースをトリムして設定			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
29		支払金額	payment	任意	1	-	数字	1-12 (可変長)	支払金額を設定する 前0をトリムして設定(ALL0の場合、0(1桁)が設定される)			BizSQLの場合、支払金額(1-11桁)を設定する。 SMBCの場合、支払金額(1-12桁)を設定する。なお、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
30		手数料負担区分	cms_div	任意	1	-	数字	1	手数料負担区分を設定する。 0:当方負担手数料 1:先方負担手数料(登録金額) 2:先方負担手数料(指定金額)			SMBCの場合で、'警告データ確定フラグ'が'1:確定を許容する'である依頼データ確定要求電文(振込振替)に対する応答の場合、設定されない。
31		先方負担手数料金額	user_cms	任意	1	-	数字	1-5 (可変長)	先方負担手数料金額を設定する。 前0をトリムして設定(ALL0の場合、0(1桁)が設定される)		x	SMBCの場合、設定しない。
32		ED:情報	edi_inf	任意	1	-	半角	1-20 (可変長)	ED:情報区分に応じた値を設定する。 後ろスペースをトリムして設定(ALL半角スペースの場合、値が省略される)		x	SMBCの場合、設定しない。
33		ED:情報区分	edi_inf_div	任意	1	-	数字	1	振込時のED:情報区分 0:振込メッセージ 1:振込依頼人名		x	SMBCの場合、設定しない。

34				明細エラー情報	detail_error_info	任意	1	1-N	-	-	
35				エラーメッセージID(データ)	err_msg_id	任意	1	-	英数字記号	10	振込先情報に対するエラーメッセージIDを設定する。記号は"-"(半角ハイフン)のみ設定可能
36				エラーメッセージ本文(データ)	err_msg	任意	1	-	半角・全角	1~2048(可変長)	振込先情報に対するエラーメッセージを設定する。


- 1 任意項目について設定しない場合はパラメータごと削除すること。
  - 2 返却値はすべて文字列とすること。
  - 3 は半角スペースを表す。
  - 4 SMBCの場合、項目順にチェックを実施し、チェックエラーとなった時点でエラー明細を設定する。
- ・チェック正常項目: 全銀テレ為替文字変換後の値を設定
  - ・チェックエラー項目: 全銀テレ為替文字変換前の値を設定
  - ・未チェック項目: 全銀テレ為替文字変換前の値を設定

**データ設定例(成功レスポンス)**

```

<ステータスライン>-<エンティティヘッダ>
HTTP/1.1 200 OK
Content-Length: 137
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
<エンティティボディ>
{
  "result_division": "2",
  "detail_error_data": [
    {"payee_info": [
      {
        "num": "1",
        "bank_cd": "1234",
        "bank_nm": "1234銀行",
        "branch_cd": "987",
        "branch_nm": "987支店",
        "acc_type": "01",
        "acc_type_nm": "普通",
        "acc_num": "1234567",
        "rcp_nm": "〆付振込",
        "payment": "50000",
        "cms_div": "0",
        "edi_inf": "メッセージ",
        "edi_inf_div": "0",
        "detail_error_info": [
          {
            "err_msg_id": "BZBE301412",
            "err_msg": "振込指定日の入力内容に誤りがあります。"
          }
        ]
      }
    ]
  }
}

```

## 付録 6 . 異常電文パラメータ

付録. 異常電文パラメータ

項番	発生契機											fintech				エラー検知箇所																													
	API連携認証	API連携認可	API連携接続情報登録	認可完了画面取得	アクセストークン再発行	トークン削除	企業情報取得	利用者情報取得	残高照会	入出金明細	振込入金明細	振込入金明細	利用者情報同期	総合振込	振込振替	エラー内容	エラーコード	エラーメッセージ	HTTPステータスコード (API連携の応答時)	発生状況	API連携	APIGW																							
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4																															
																<table border="1"> <thead> <tr> <th>fintech向けエラーコード</th> <th>エラー番号</th> <th>エラー内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>invalid_request</td> <td>1XX</td> <td>無効なリクエスト</td> </tr> <tr> <td>access_denied</td> <td>2XX</td> <td>アクセス拒否</td> </tr> <tr> <td>invalid_client</td> <td>3XX</td> <td>無効なクライアント</td> </tr> <tr> <td>invalid_grant</td> <td>4XX</td> <td>無効な付与</td> </tr> <tr> <td>invalid_token</td> <td>5XX</td> <td>無効なトークン</td> </tr> <tr> <td>server_error</td> <td>6XX</td> <td>サーバーエラー</td> </tr> <tr> <td>unauthorized_client</td> <td>7XX</td> <td>不正なクライアント</td> </tr> </tbody> </table>	fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容	invalid_request	1XX	無効なリクエスト	access_denied	2XX	アクセス拒否	invalid_client	3XX	無効なクライアント	invalid_grant	4XX	無効な付与	invalid_token	5XX	無効なトークン	server_error	6XX	サーバーエラー	unauthorized_client	7XX	不正なクライアント					
fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容																																											
invalid_request	1XX	無効なリクエスト																																											
access_denied	2XX	アクセス拒否																																											
invalid_client	3XX	無効なクライアント																																											
invalid_grant	4XX	無効な付与																																											
invalid_token	5XX	無効なトークン																																											
server_error	6XX	サーバーエラー																																											
unauthorized_client	7XX	不正なクライアント																																											
3															HTTP改竄エラー	invalid_request	httpheader is invalid. [102]	-	クライアントが送信したリクエスト情報に改竄が認められた場合 (証明書情報)																										
4															金融機関コード取得不可エラー	invalid_request	request parameter is invalid. [103]	400	新規セッションの場合に金融機関コードが取得できない場合																										
5															収容金融機関コード対象外エラー	invalid_request	request parameter is invalid. [104]	400	クライアントが送信した金融機関コードが構成管理で保持している収容金融機関以外であった場合																										
6															共同センタ妥当性エラー	invalid_request	request parameter is invalid. [106]	400	共同センタでの代表金融機関コードと個別金融機関コードが妥当でない場合																										
7															利用可能期間チェックエラー (JASTEM)	access_denied	specified bank is not in the available period. [201]	400	共同センタで個別金融機関が利用可能期間内でない場合																										
8															処理ID妥当性チェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [109]	-	リクエストパラメータの処理IDが不正であった場合																										
9															継続サーバID妥当性エラー	invalid_request	request parameter is invalid. [110]	-	クライアントが送信したサーバIDが、構成管理で保持しているサーバID以外のものであった場合																										
10															APサーバ障害中エラー	access_denied	system was stopped. [203]	400	APサーバが閉塞中であった場合																										
11															BizSQLセンタ運転状態チェックエラー	access_denied	service time is over. [204]	400	BizSQLセンタがサービス時間外であった場合																										
12															サービス提供状態 (BizSQLセンタ内障害) チェックエラー	access_denied	system was stopped. [205]	400	BizSQLセンタが障害中であった場合																										
13															同一ログインIDの複数ユーザログイン不可チェックエラー	invalid_request	session is invalid. [111]	-	同一ログインIDによりログインされたため、セッションが削除された場合																										
14															API連携サービス運転状態チェックエラー	access_denied	api service was stopped. [207]	400	API連携サービスが閉塞中の場合																										
15															API連携サービス提供有無チェックエラー	access_denied	api service was stopped. [208]	400	API連携サービスを提供していない場合																										
16	注3														サービス提供状態 (金融機関ホスト障害) チェックエラー	access_denied	service was stopped. [209]	400	金融機関ホストが障害中であった場合																										
17															ログイン可能時間チェックエラー	access_denied	service time is over. [210]	400	ログイン可能時間外の場合																										
18	注3														金融機関サービス利用可能時間チェックエラー	access_denied	service time is over. [211]	400	業務の利用可能時間外の場合																										
19															画面入力項目存在妥当性エラー	invalid_request	request parameter is invalid. [112]	-	クライアントが送信したリクエスト内容に想定外のリクエスト項目が存在した場合																										
20															セッション妥当性エラー	invalid_request	request parameter is invalid. [113]	-	セッションが妥当でない場合																										
21															非ログインエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [114]	-	ログインを行っていない状態で、ログイン後の処理へのリクエストを受け付けた場合																										
22															企業契約期間チェックエラー	access_denied	service is not in the available period. [212]	400	契約者状態の不正を検知 (契約期間外)																										
23															取扱停止中チェックエラー	access_denied	service was stopped. [213]	400	契約者状態の不正を検知 (取引停止中)																										
24			注4												クライアント識別子最大登録可能件数超過エラー	access_denied	client_id is over. [279]	400	1企業当たりのクライアント識別子最大登録可能件数に到達し、クライアント識別子を登録できない場合																										
25	注4														API連携接続情報登録チェックエラー (未登録)	access_denied	api service connection info is unregistered. [280]	400	リダイレクト (認可) 電文で受け取ったクライアント識別子のクライアントパスワード、リダイレクトURLが登録されていない場合																										
26				注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	企業認証識別子認証エラー	unauthorized_client	authentication error. [743]	403	企業認証識別子の番号に失敗した場合																										
27	注4	注4		注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	注4	直接企業連携利用可否チェックエラー	access_denied	service was stopped. [278]	400	直接企業連携を行うための企業契約がない場合																										
28															業務権限チェックエラー	access_denied	service was stopped. [214]	400	API連携を行うための業務権限がない場合																										
29															利用者状態チェックエラー	access_denied	user status is invalid. [215]	400	利用者状態の異常を検知。 ・利用者未存在 ・利用のログインパスワードが停止または一時停止																										
30															利用者権限チェックエラー	access_denied	user is not authorized. [216]	400	API連携を行うための利用者権限がない場合																										
31															デバイスエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [115]	-	クライアントが送信したリクエスト内容に情報が不足している場合																										
32															画面遷移チェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [116]	-	ブラウザの戻るボタンなどの不正な画面遷移を検知																										
33															URLパラメータチェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [117]	-	リクエストパラメータ不正を検知。																										
34															画面改竄チェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [118]	-	画面改竄を検知。																										
35							注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1	注1	外部連携システム障害状態チェックエラー	access_denied	external system was stopped. [244]	400	外部連携システム障害状態チェックエラーを検知																										

項番	発生契機											fintech				エラー検知箇所								
	API連携認証 1 2	APIGW連携認可 1 2	APIGW連携接続情報登録 1 2	認可完了画面取得	アクセストークン再発行	トークン削除	企業情報取得	利用者情報取得	残高照会	入金金明細	振込入金明細	利用者情報同期 3	総合振込	振込振替	エラー内容	エラーコード	エラーメッセージ	HTTPステータスコード (API連携の応答時)	発生状況	API連携	APIGW			
																						エラーコード		
																						fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容
36														外部連携システム運転状態チェックエラー	access_denied	external system was stopped. [245]	400	外部連携システム運転状態チェックエラーを検知						
37														その他エラー	server_error	server internal error. [601]	500	BizSQLセンタまたは金融機関ホストで異常処理検知。						
38														その他エラー (APIGW)	server_error	server internal error. [602]	500	金融機関ホストで異常処理検知。						
39														クライアント識別子存在チェックエラー	invalid_client	client id is invalid. [301]	-	クライアント識別子不正を検知。						
40														コールバックURL正当性チェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [119]	400	リクエストパラメータ不正を検知。						
41														SSOセンタ状態チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [701]	-	認証誤りを検知。						
42														アクセス拒否チェックエラー (ブラックIP)	unauthorized_client	authentication error. [702]	-	認証誤りを検知。						
43														認証結果チェックエラー (ログインパスワード一時停止)	unauthorized_client	authentication error. [703]	-	認証誤りを検知。						
44														認証結果チェックエラー (ログインパスワード停止)	unauthorized_client	authentication error. [704]	-	認証誤りを検知。						
45														認証結果チェックエラー (ログインパスワード一時停止中)	unauthorized_client	authentication error. [705]	-	認証誤りを検知。						
46														認証結果チェックエラー (ログインパスワード停止中)	unauthorized_client	authentication error. [706]	-	認証誤りを検知。						
47														認証結果チェックエラー (ログインパスワード停止 (マスターユーザ))	unauthorized_client	authentication error. [707]	-	認証誤りを検知。						
48														認証結果チェックエラー (ログインID初期化エラー)	unauthorized_client	authentication error. [708]	-	認証誤りを検知。						
49														ログインユーザ方式不正チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [709]	-	ログインを実行した認証方式とユーザの認証方式が異なる場合						
50														管理者認証チェックエラー (ログインパスワード利用停止)	unauthorized_client	authentication error. [710]	-	認証誤りを検知。 全管理者ログインパスワード利用停止						
51														管理者認証チェックエラー (追加認証利用停止)	unauthorized_client	authentication error. [710]	-	認証誤りを検知。 全管理者追加認証利用停止 (「管理者認証チェックエラー (ログインパスワード利用停止)」と同様)。						
52														初回ログインユーザチェックエラー	access_denied	user is not registered. [217]	-	初回ログイン未実施利用者を検知。						
53														利用者権限チェックエラー (スマートフォン利用不可)	access_denied	user is not authorized to use smart phone. [218]	-	利用不可能なメディアでのアクセスを検知。						
54														利用者権限チェックエラー (タブレット利用不可)	access_denied	user is not authorized to use tablet. [219]	-	利用不可能なメディアでのアクセスを検知。						
55														サービスレベルチェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [120]	-	ログイン時のURLパラメータに設定されたサービスレベルと、ログインした企業の画面パターン区分が異なる場合						
56														トランザクション認証状態チェックエラー (停止中)	unauthorized_client	authentication error. [711]	403	認証誤りを検知。						
57														OTP認証センタ状態チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [712]	-	認証誤りを検知。						
58														ワンタイムパスワード状態チェックエラー (未登録)	unauthorized_client	authentication error. [713]	-	認証誤りを検知。						
59														ワンタイムパスワード状態チェックエラー (失効中)	unauthorized_client	authentication error. [714]	-	認証誤りを検知。						
60														ワンタイムパスワード状態チェックエラー (ハードウェアトークン有効期限切れ)	unauthorized_client	authentication error. [715]	-	認証誤りを検知。						
61														ワンタイムパスワード状態チェックエラー (時刻同期)	unauthorized_client	authentication error. [716]	-	認証誤りを検知。						
62														ワンタイムパスワード認証状態チェックエラー (停止中)	unauthorized_client	authentication error. [717]	-	認証誤りを検知。						
63														メール通知パスワード停止状態チェックエラー	access_denied	email notification password was blocked. [220]	-	メール通知パスワード通知停止中を検知。						
64														IBロックチェックエラー	access_denied	service was locked. [221]	-	IBロック状態を検知。						
65														パス確保可否チェックエラー	access_denied	request is crowded. [222]	400	輻輳が発生。						
66														パス確保可否チェックエラー (API連携操作中)	access_denied	request is crowded. [223]	400	輻輳が発生。						
67														アクセス拒否チェックエラー (非正規利用者)	unauthorized_client	authentication error. [718]	-	認証誤りを検知。						
68														不正リスク評価取消判定チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [719]	-	認証誤りを検知。						
69														追加認証結果チェックエラー (追加認証一時停止)	unauthorized_client	authentication error. [720]	-	認証誤りを検知。						
70														追加認証結果チェックエラー (追加認証停止)	unauthorized_client	authentication error. [721]	-	認証誤りを検知。						
71														認証結果チェックエラー (追加認証一時停止中)	unauthorized_client	authentication error. [722]	-	認証誤りを検知。						
72														認証結果チェックエラー (追加認証停止中)	unauthorized_client	authentication error. [723]	-	認証誤りを検知。						
73														追加認証回答登録チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [724]	-	認証誤りを検知。						
74														ログインパスワード期限切れチェックエラー	access_denied	password has expired. [224]	-	パスワード期限切れを検知。						
75														ログインパスワード強制変更チェックエラー	access_denied	password has expired. [225]	-	パスワード期限切れを検知。 (エラーメッセージはParaSQLとあわせる)						
76														メール通知パスワード一時通知停止状態チェックエラー	access_denied	email notification password was blocked. [226]	-	操作者のメール通知パスワードが一時的に通知停止状態						
77														メールアドレス稼働状態チェックエラー	access_denied	email address is invalid. [227]	-	操作者のメールアドレスが停止中 (現在のE-mailは無効)。						
78														トランザクション認証登録状態チェックエラー (未登録)	unauthorized_client	authentication error. [725]	-	認証誤りを検知。						
79														トランザクション認証登録状態チェックエラー (仮登録)	unauthorized_client	authentication error. [726]	-	認証誤りを検知。						
80														利用可能口座存在チェックエラー	access_denied	user does not have available account. [228]	400	利用可能口座なし。						
81														証明書認証結果チェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [121]	-	リクエストパラメータ不正を検知。						
82														証明書失効中チェックエラー (失効済み)	unauthorized_client	authentication error. [727]	-	認証誤りを検知。						
83														証明書更新チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [728]	-	証明書の更新が必要。						
84														ブラウザワンタイムパスワード認証利用可否チェックエラー	unauthorized_client	authentication error. [729]	-	認証誤りを検知。						
85														利用トークン変更チェックエラー (ソフトウェアトークン)	unauthorized_client	authentication error. [729]	-	認証誤りを検知。 '利用トークン変更チェックエラー (ソフトウェアトークン)と同様'。						
86														利用トークン変更チェックエラー (ハードウェアトークン)	unauthorized_client	authentication error. [729]	-	認証誤りを検知。 '利用トークン変更チェックエラー (ソフトウェアトークン)と同様'。						



項番	発生契機											fintech				エラー検知箇所					
	API連携認証 1 2	APIGW連携認可 1 2	APIGW連携接続情報登録 1 2	認可完了画面取得	アクセストークン再発行	トークン削除	企業情報取得	利用者情報取得	残高照会	入金金明細	振入金金明細	利用者情報同期 3	総合振込	振込振替	エラー内容	エラーコード	エラーメッセージ	HTTPステータスコード (API連携の応答時)	発生状況	API連携	APIGW
															invalid_request	1XX	無効なリクエスト				
															access_denied	2XX	アクセス拒否				
															invalid_client	3XX	無効なクライアント				
															invalid_grant	4XX	無効な付与				
															invalid_token	5XX	無効なトークン				
															server_error	6XX	サーバーエラー				
															unauthorized_client	7XX	不正なクライアント				
87															unauthorized_client	authentication error. [730]	-	認証誤りを検知。			
88															unauthorized_client	authentication error. [715]	-	認証誤りを検知。 「ワンタイムパスワード状態チェックエラー（ハードウェアトークン有効期限切れ）」と同様。			
89															unauthorized_client	authentication error. [731]	-	認証誤りを検知。			
90															unauthorized_client	authentication error. [732]	-	認証誤りを検知。			
91															unauthorized_client	authentication error. [733]	-	認証誤りを検知。			
92															unauthorized_client	authentication error. [734]	-	認証誤りを検知。			
93															unauthorized_client	authentication error. [735]	-	認証誤りを検知。			
94															unauthorized_client	authentication error. [730]	-	認証誤りを検知。 「トークンロック解除応答結果チェックエラー（ソフトウェアトークン有効期限切れ）」と同様。			
95															unauthorized_client	authentication error. [715]	-	認証誤りを検知。 「ワンタイムパスワード状態チェックエラー（ハードウェアトークン有効期限切れ）」と同様。			
96															unauthorized_client	authentication error. [736]	-	認証誤りを検知。			
97															unauthorized_client	authentication error. [737]	-	認証誤りを検知。			
98															unauthorized_client	authentication error. [738]	-	その他認証誤りを検知。 ワンタイムパスワード認証、証明書認証、トランザクション認証などの認証系処理でエラーとなった場合は一律このエラーで返す。 通信異常なども含む			
99															access_denied	request is crowded. [229]	-	二重ログインエラーを検知。			
100															unauthorized_client	authorization processing was stopped by user. [739]	-	中止を検知。			
101															unauthorized_client	authentication error. [740]	403	クライアント識別子認証で失敗を検知。			
102															invalid_grant	approval code has expired. [401]	400	認可コードの有効期限切れを検知。			
103															invalid_grant	approval code is invalid. [402]	400	不正な認可コードによるアクセスを検知。			
104															invalid_request	request parameter is invalid. [123]	400	リクエストパラメータ不正を検知。			
105															invalid_token	refresh token has expired. [501]	400	リフレッシュトークンの有効期限切れを検知。			
106															invalid_token	refresh token is invalid. [502]	400	不正なリフレッシュトークンによるアクセスを検知。			
107															invalid_token	access token is invalid. [503]	403	不正なアクセストークンによるアクセスを検知。			
108															invalid_token	access token has expired. [504]	400	アクセストークンの有効期限が切れている			
109															access_denied	account is unavailable. [230]	400	指定された口座が利用可能な口座ではない場合。 ・利用者の利用可能口座ではない。 ・科目が対象の業務では使用できない。 ・口座のサービス状態が「利用可能」ではない。			
110															access_denied	account is used by another user. [231]	400	指定された口座が他の利用者により使用中の場合			
111															access_denied	password is unregistered. [232]	400	指定された口座の照会用暗証番号・振込振替暗証番号が未登録、または仮登録の場合 (暗証番号承認省略可否情報取得で取得した内容が「2」(省略する(ダミー暗証番号))以外の場合。 振込振替暗証番号は、画面カスタマイズ申込により振込振替暗証番号を利用する金融機関の場合のみ			
112													注1	注1	access_denied	request is crowded. [233]	400	流量制限による輻輳が発生。			
113															access_denied	request is crowded. [234]	400	流量制限による輻輳が発生。			
114															access_denied	service time is over. [235]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・サービス時間外拒否報告			
115															access_denied	access is congestion. [236]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・輻輳拒否報告 ・回線輻輳			
116															access_denied	password is invalid. [237]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・暗証番号誤り報告(誤り規定回数内) ・暗証番号チェックエラー (利用者による照会用暗証番号・振込振替暗証番号を入力する場合のみ、それ以外は、その他のエラーとする)			
117															access_denied	password was blocked. [238]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・暗証番号誤り報告(誤り規定回数オーバー) (利用者による照会用暗証番号・振込振替暗証番号を入力する場合のみ、それ以外は、その他のエラーとする)			

項番	発生契機											fintech				エラー検知箇所																												
	API連携認証	API連携認可	API連携接続情報登録	認可完了画面取得	アクセストークン再発行	トークン削除	企業情報取得	利用者情報取得	残高照会	入出金明細	振込入金明細	利用者情報同期	総合振込	振込振替	エラー内容	エラーコード	エラーメッセージ	HTTPステータスコード (API連携の応答時)	発生状況	API連携	APIGW																							
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	4																														
															<table border="1"> <thead> <tr> <th>fintech向けエラーコード</th> <th>エラー番号</th> <th>エラー内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>invalid_request</td> <td>1XX</td> <td>無効なリクエスト</td> </tr> <tr> <td>access_denied</td> <td>2XX</td> <td>アクセス拒否</td> </tr> <tr> <td>invalid_client</td> <td>3XX</td> <td>無効なクライアント</td> </tr> <tr> <td>invalid_grant</td> <td>4XX</td> <td>無効な付与</td> </tr> <tr> <td>invalid_token</td> <td>5XX</td> <td>無効なトークン</td> </tr> <tr> <td>server_error</td> <td>6XX</td> <td>サーバーエラー</td> </tr> <tr> <td>unauthorized_client</td> <td>7XX</td> <td>不正なクライアント</td> </tr> </tbody> </table>	fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容	invalid_request	1XX	無効なリクエスト	access_denied	2XX	アクセス拒否	invalid_client	3XX	無効なクライアント	invalid_grant	4XX	無効な付与	invalid_token	5XX	無効なトークン	server_error	6XX	サーバーエラー	unauthorized_client	7XX	不正なクライアント					
fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容																																										
invalid_request	1XX	無効なリクエスト																																										
access_denied	2XX	アクセス拒否																																										
invalid_client	3XX	無効なクライアント																																										
invalid_grant	4XX	無効な付与																																										
invalid_token	5XX	無効なトークン																																										
server_error	6XX	サーバーエラー																																										
unauthorized_client	7XX	不正なクライアント																																										
118															access_denied	service unavailable. [239]	400	その他CLAからのエラーを受信した場合																										
119								注1		注2					access_denied	request date is invalid. [240]	400	曆上に存在しない日付が設定されている場合。																										
120										注2					access_denied	start date is later than end date. [241]	400	取得開始日が終了日を上回る場合。																										
121										注2					access_denied	You can try from [処理可能な範囲を返却する] days ago. [242]	400	要求された明細取得範囲が照会可能期間を超える場合。																										
122								注1		注2					access_denied	the future date is set. [243]	400	未来日を設定された場合。																										
123								注1				注1			invalid_request	session timeout. [124]	400	サービス取得時間超過																										
124								注1	注1	注1					access_denied	request date is out of range. [246]	400	要求された明細取得範囲が照会可能期間を超える場合。																										
125								注1	注1	注1	注1	注1	注1		unauthorized_client	authentication error. [741]	400	ValueDoor認証で使用した利用者の認証情報が変更等された場合																										
126								注1	注1	注1	注1	注1	注1		access_denied	api service was stopped. [247]	400	Fintech企業が対象のAPI連携サービス(業務)を利用できない場合(注)、あるいは対象業務のAPI連携サービスが申込提供されていない場合。 ・API連携利用区分(残高照会、入出金明細照会、振込入金明細照会、総合振込、給与・賞与振込、振込振替)が"利用しない" ・API連携利用開始日(残高照会、入出金明細照会、振込入金明細照会、総合振込、給与・賞与振込、振込振替)が未到来 アクセストークン取得などの対象業務を特定できない業務の場合、Fintech情報の利用開始日が未到来の場合、エラーとする  *Fintech企業のAPI連携サービス業務提供チェックは直接企業連携の場合は不要とし、API連携事業者サービスの場合のみチェックを行う。																										
127															access_denied	response synchronous count is over. [251]	400	連携情報(認証時間)からの経過時間をチェックする。規定時間以上経過している場合はエラーとする。																										
128								注1							access_denied	detailinfo count is over. [252]	400	最大明細件数を超える情報を受信した場合																										
129															access_denied	transfer date is not exist. [254]	400	利用者権限と操作タイミングにより指定可能な振込指定日がない場合																										
130															access_denied	dealing count is over. [255]	400	仕掛中取引件数の最大件数を超過した場合																										
131															access_denied	approval pattern is not exist. [256]	400	取引状況照会(振込振替):要求電文の検索条件(取引ID/受付番号)に対する承認パターン区分とシステム上の承認パターン区分が一致していない場合 上記以外の業務:要求電文で指定された承認パターン区分とシステム上の承認パターン区分が一致していない場合																										
132															access_denied	savelinfo count is over. [257]	400	利用者が保存できる取引件数を超過した場合																										
133															access_denied	transaction status is invalid. [258]	400	取引状態が保存中である場合																										
134															access_denied	account payer is not exist. [259]	400	口座/委託者データが存在しない場合																										
135															access_denied	transfer fee is unavailable. [260]	400	手数料体系情報が取得できなかった場合																										
136															unauthorized_client	authentication error. [742]	403	認証誤りを検知。																										
137															access_denied	user is not authorized. [261]	400	トランザクション認証、またはOTP認証が仮登録期間内で、都度当日取引を行うための利用者権限がない場合																										
138															access_denied	save function is none. [262]	400	一時保存機能を提供しない金融機関で、承認パターン区分が承認なしの場合																										
139															access_denied	api service was stopped. [263]	400	利用者が対象のAPI連携サービス(業務)を利用できない場合。 API連携認可区分(残高照会、入出金明細照会(ANSER)、入出金明細照会(全銀)、振込入金明細照会(ANSER)、振込入金明細照会(全銀)、総合振込、総合振込、給与・賞与振込、振込振替、取引状況照会(総合振込)、取引状況照会(給与・賞与振込)、取引状況照会(振込振替))が"利用しない"																										
140															access_denied	authorizer is not exist. [264]	400	確定可能な承認者が存在しない場合																										
141									注1	注1					access_denied	amount of money is over. [265]	400	照会応答時に金額表示桁数を超える照会条件を指定された場合																										
142									注1	注1	注1				access_denied	access is congestion. [266]	400	金融機関ホストの受付が混雑している場合																										
143									注1	注1	注1				access_denied	security setting error. [267]	400	Web21/バーフェクト口座照会契約ありの場合																										
144												注1	注1		access_denied	trial period is over. [281]	400	無料期間が終了して、継続申込されていない場合																										

項番	発生契機											fintech				エラー検知箇所 4																								
	API連携認証 1	APIGW連携認可 2	APIGW連携接続情報登録 1	APIGW連携接続情報登録 2	認可完了画面取得	アクセストークン取得	アクセストークン再発行	トークン削除	企業情報取得	利用者情報取得	残高照会	入出金明細	振込入金明細	利用者情報同期 3	総合振込	振込振替	エラー内容	エラーコード	エラーメッセージ	HTTPステータスコード (API連携の応答時)	発生状況	API連携	APIGW																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>fintech向けエラーコード</th> <th>エラー番号</th> <th>エラー内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>invalid_request</td> <td>1XX</td> <td>無効なリクエスト</td> </tr> <tr> <td>access_denied</td> <td>2XX</td> <td>アクセス拒否</td> </tr> <tr> <td>invalid_client</td> <td>3XX</td> <td>無効なクライアント</td> </tr> <tr> <td>invalid_grant</td> <td>4XX</td> <td>無効な付与</td> </tr> <tr> <td>invalid_token</td> <td>5XX</td> <td>無効なトークン</td> </tr> <tr> <td>server_error</td> <td>6XX</td> <td>サーバーエラー</td> </tr> <tr> <td>unauthorized_client</td> <td>7XX</td> <td>不正なクライアント</td> </tr> </tbody> </table>																							fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容	invalid_request	1XX	無効なリクエスト	access_denied	2XX	アクセス拒否	invalid_client	3XX	無効なクライアント	invalid_grant	4XX	無効な付与	invalid_token	5XX
fintech向けエラーコード	エラー番号	エラー内容																																						
invalid_request	1XX	無効なリクエスト																																						
access_denied	2XX	アクセス拒否																																						
invalid_client	3XX	無効なクライアント																																						
invalid_grant	4XX	無効な付与																																						
invalid_token	5XX	無効なトークン																																						
server_error	6XX	サーバーエラー																																						
unauthorized_client	7XX	不正なクライアント																																						
145																	メール・お知らせ登録対象利用者情報未存在エラー	access_denied	mail send userinfo is not exist. [268]	400	メール・お知らせ登録対象の利用者情報が取得できない場合																			
146																	仮取引データ確定可能時間超過エラー	access_denied	confirm time is over. [269]	400	依頼データ警告エラー時の確定再要求時に於いて仮取引データ確定可能時間を超過している場合																			
147																	照会可能期間チェックエラー	access_denied	inquiry date over. [270]	400	取引データの照会可能期間を超過している場合																			
148																	日付誤り報告 ANSERのみ	access_denied	date is invalid. [272]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・日付誤り報告																			
149																	受付番号拒否報告 ANSERのみ	access_denied	reject receipt number. [273]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・受付番号拒否報告																			
150																	受付番号誤り報告 ANSERのみ	access_denied	receipt number is invalid. [274]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・受付番号誤り報告																			
151																	明細件数オーバー拒否報告 ANSERのみ	access_denied	reject detail count over. [275]	400	CLAより以下の電文を受信した場合 ・明細件数オーバー拒否報告																			
152																	仮取引データ取得エラー	access_denied	transaction info is unavailable. [276]	400	仮取引データが取得できなかった場合																			
153																	同時処理数上限値チェックエラー	access_denied	request is crowded. [277]	400	同時に処理することのできる最大明細ファイルの数が規定値を超過した場合																			
154																	受付番号重複エラー	access_denied	receipt number is overlapping. [296]	400	受付番号が重複している場合																			
155																	JSONパーサエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [125]	400	JSONパーサエラーが発生																			
156																	バージョンチェックエラー	invalid_request	request parameter is invalid. [126]	400	バージョンチェックエラーが発生																			

1 異常発生時は、コールバックURLのパラメータにエラーコード、エラーメッセージを設定して返却する(その場合はHTTPステータスコードは"302"を設定する)。  
 2 リダイレクト(認証)またはリダイレクト(認可)→リダイレクト(コールバック)までの画面遷移中でのエラー。  
 3 バッチ処理で利用。  
 4 エラー検知箇所のAPIGWの はBizSOLでエラーを検知した場合を想定している。連携先でエラーを検知した場合はAPIGWの は記載せず、金融機関の箇所のみ を付与するルールとする。  
 注1 APIGW連携のみ実施  
 注2 全銀系、または公衆のみ実施  
 注3 照会用暗証番号登録時のみ実施  
 注4 直接企業連携の場合のみ実施



## 付録 7 . 各種取引上限件数

本サービスでお取り扱い可能な各種取引の上限件数は、Web21 と株式会社 NTT データが提供する AnserBizSQL の性能に準じます。各種取引の上限件数を下表に示します。

表 付録 7-1 各種取引上限件数

項番	API 連携対象業務	上限件数
1	残高照会	1 件
2	入出金明細照会	20,000 件
3	振込入金明細照会	20,000 件
4	振込振替	1 件
5	総合振込	3,000 件